

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		02010106	担当グループ名		総務部 総務グループ 庶務担当
基本事業名		公文書管理事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづ			
	施策(大区分)	02 持続可能な行財政システムの確立			
	施策(中区分)	02 行政運営、行政サービスの効率化			
	施策(小区分)	02 文書管理体制の整備			
事業の概要		行政文書を組織的かつ効率的に管理するために、文書管理体制の見直し及び統一的な管理ルールの徹底を図る。 また、住民からの開示請求に応えるための適正管理を図ることを目的とする。			
対 象		町民、町職員			
目 的		文書に関する事務を適正かつ効果的に行えるようにする。			

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
ファイリングシステムの導入率		%	58	100	100	-

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		16,533	12,059	2,355
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			0
	一般財源	16,533	12,059	2,355

【今後の方向性】					
成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	文書管理は、町の様々な事務を行う上で重要な事務であり、その円滑かつ効率的な運用は、信頼される行政のため必要不可欠である。このため、基本事業指標はまずファイリングの導入率を設定した。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	構成された事務事業は、基本事業指標を達成するため妥当と考える。今後、システムの維持・改善を図るための方法について検討していく必要がある。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	行政執行に必要な基礎的な事務や管理業務であり、町が実施することが適当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	公文書管理事業	維持管理体制の構築や職員の文書管理能力の向上を図るため、維持管理の取り組みを進めて行くことが必要であるため、毎月「ファイリングの日」を設けるなど、維持管理体制の取り組みについて検討していきたい。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	ファイリングシステムについて、総務グループ職員及び行政文書管理士を中心に、その維持管理を図るノウハウを構築することを研究する。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	ファイリングシステム導入業者による実地指導から職員による巡回指導へ変更しても、ファイリングの適正な維持管理が可能となり、ファイリングシステムコストの削減が図られる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 総務グループ	内線
	総務主幹 小室 保男	210

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		02010401		担当グループ名		総務部 総務グループ 庶務担当	
基本事業名		庁舎管理事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづ		01 人を創り、地域力を高めるまちづ			
	施策(大区分)	02 持続可能な行財政システムの確立		02 持続可能な行財政システムの確立			
	施策(中区分)	02 行政運営、行政サービスの効率化		02 行政運営、行政サービスの効率化			
	施策(小区分)	04 庁舎改築検討		01 公共施設等総合管理計画の策定及			
事業の概要		本庁舎、別館の秩序の維持、公務の円滑化、利用者の利便性向上を目的とし、適正な維持管理を行う。					
対 象		町民、町職員					
目 的		公務の円滑化、来庁者の利便性の向上及び安全性を確保する。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
事故及び苦情件数		件	0	0	0	0

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重点化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1		庁舎維持管理事業	事故件数及び苦情件数(件)				妥当	普通	検討	縮小	維持	
			0	0								
			16,453	15,210	17,737							
2	★	庁舎改築等事業	庁舎改築等事業に係る進捗率（行政主導で実施可能）				妥当	高い	検討	維持	拡充	
			0	30								
				400,068	9,337							
3	★	庁舎整備事業	修繕箇所数(箇所)				妥当	普通	検討	皆減	休廃止	
				17								
			0	4,813	2,170							
										</		

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		16,453	420,091	29,244
財源内訳	国庫補助金			2,659
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			368
	一般財源	16,453	420,091	26,217

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点		左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？	
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	公務の円滑化、利用者の利便性向上には、庁舎の適切な維持管理が不可欠であり、指標・目標値は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	構成された事務事業は、基本事業指標を構成するため妥当と考える。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	行政財産であり、他の実施主体は考えられない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	庁舎維持管理事業	将来の庁舎改築等を見据え、無駄のない維持管理に努める。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	庁舎の老朽化に伴い、毎年多くの維持管理費を要している。将来における現庁舎の問題点、新庁舎の必要性、庁舎建設の事業手法等の検討を行う必要があるため、庁内検討委員会を設置し、具体的な検討を進めている。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	庁舎建設までには多くの時間を要することになるが、庁内検討委員会での論議を通じて、利用者の利便性や安全性を考え、常に最善の判断ができるよう、体制を整えている。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	総務部 総務グループ	内線
	総務主幹 小室 保男	210

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		02011102		担当グループ名	総務部 総務グループ 防災担当	
基本事業名		自主防災活動推進事業				
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづ				
	施策(大区分)	07 防災体制の強化				
	施策(中区分)	02 自助的活動の促進				
	施策(小区分)	02 自主防災組織の活動推進				
事業の概要		自治会連合会と協力連携しながら、自主防災リーダー養成の人材育成、防災資機材や収納庫の整備配置を促進して、環境整備を整える。				

対象	自治会
目的	町民の防災知識・技術を習得してもらい、自分たちの地域は自ら守り、自主防災活動への環境整備を図る

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
防災資機材配備完了の自治会数	防災資機材整備を整えてた自治会数	箇所	26	27	27	28

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の事業の方向性		重点化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当性	有効性	効率性	H29年度以降の事業の方向性		
			決算額	決算額	予算額					コスト	成果	
1	★	自主防災活動推進事業	自主防災資機材の整備自治会数(箇所)			自治会の負担軽減のために整備費用の補助支援を充実させる必要あり。災害発生時は、地域住民による初動が大変重要。	妥当	高い	高い	拡大	拡充	◎
			26	27								
			1,587	250	850							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		1,587	250	850
財源内訳	国庫補助金	0		
	道支出金	700		
	地方債	0		
	その他特定	0		
	一般財源	887	250	850

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	設置箇所の実績が把握でき適切である
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	当該事業は自治会への補助金交付により支援しており、自治会の自主性も損なわない形で実施している
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	自治会単位への補助事業のため妥当



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	自主防災活動推進事業	自治会で資機材保有のためには、設置場所や保管収納物置の整備が必要であることから、保管物置購入に係る補助限度額を引き上げ、未配備自治会に対する改善を図る。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	設置未自治会に対しての事業周知を図る
	1年以内に実施可能な改善提案	収納庫購入補助に対する上限額を引き上げることで、資機材購入
	2～3年以内に実施可能な改善提案	防災資機材・収納庫整備の初期導入段階から、既存整備への充実を図る検討
改善状況	改善効果	設置数が増えてきており効果が見られる
	改善の阻害要因	予算支出が増加する
	住民への影響及びフォロー	安心安全に直結する物質整備が図られ充実

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	総務部 総務グループ	内線
	総務主幹 小室 保男	210

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		02010201		担当グループ名		総務部 総務グループ 広報担当	
基本事業名		広報事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづ		01 人を創り、地域力を高めるまちづ			
	施策(大区分)	01 町民との協働によるまちづくり		01 町民との協働によるまちづくり			
	施策(中区分)	05 広報の充実		05 広報の充実			
	施策(小区分)	01 広報誌の充実		02 美幌町ホームページの充実			
事業の概要		町広報を毎月1回発行し、町民に対して、町の取り組みや事業の内容、イベント等のお知らせをする。 また、町内外の方々に対しては、ホームページやフェイスブック等を活用して、町の行政情報を提供する。					
対 象		町民、町内外者					
目 的		町の取り組みやニュース、各種イベント情報などを適切な時期に配信することで、情報提供の充実を図る。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
広報誌配布率	配布部数／発行部数（庁内配布除く）	%	95.9	97	95.5	97

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当 性	有 効 性	効 率 性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	広報びほろ発行事業	広報誌の発行(回)				妥 当	普 通	高 い	維 持	拡 充	○
			12	12								
			8,449	8,704	9,168							
2	★	広報推進事業	H P の更新件数(件)				妥 当	普 通	検 討	維 持	拡 充	◎
			936	995								
			3,332	2,617	3,133							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		11,781	11,321	12,301
財源内訳	国庫補助金	32		37
	道支出金	0		0
	地方債	0		0
	その他特定	165		120
	一般財源	11,584	11,321	12,144

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	町の行政情報を提供する事業であるため、指標・目標値の設定は適切である。
基本事業を構成する 事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	広報事業の柱は、広報誌とホームページであり、構成された事務事業は妥当と考える。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	編集業務の方法はプロポーザル方式による複数年契約を実施した。 きめ細かな行政情報の発信については、町が実施主体となり進めることが妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	広報のレイアウト、ホームページの構成について、常に親しみやすい情報発信に努める。 現状にあった広報誌発行部数の検討。 広報誌をスーパー3社（シティ美幌、コープ、アークス）へ配付し、自治会配付以外の方にも、気軽に手にしてもらう。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	より多くの町民が町政に関心を持ち、必要な情報を得ることができる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	総務部 総務グループ	内線
	総務主幹 小室 保男	210

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		02011103		担当グループ名		総務部 総務グループ 駐屯地担当	
基本事業名		駐屯地強化充実推進事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	03	まちの資源や持ち味を、活力に換				
	施策(大区分)	02	農業の振興				
	施策(中区分)	01	農業生産環境の保全・整備				
	施策(小区分)	03	農業生産活動環境対策事業の推進				
事業の概要		大規模災害時等における陸上自衛隊美幌駐屯部隊の存在は大きく、連携強化を図り部隊・施設の充実整備を求めています。					

対 象	美幌駐屯部隊
目 的	部隊の充実整備を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
美幌駐屯地自衛官数		人	771	800	748	800

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		6,043	6,351	6,273
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			0
	一般財源	6,043	6,351	6,273

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮 小	×	×
	休 廃 止	廃 止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

↑

◆事後評価◆

評価の視点		左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？	
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	国の安全はもとより、地域の安全安心の確保の観点から、美幌駐屯部隊の充実整備は不可欠であり、指標・目標値は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	構成された事務事業は、基本事業指標を達成するため妥当と考える。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	隊区内2市8町で構成する美幌地方自衛隊協力をはじめとする協力関係諸団体との連携した取り組みが必要であることから、妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 総務グループ	内線
	総務主幹 小室 保男	210

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		02010202		担当グループ名		総務部 まちづくりグループ 住民活動担当	
基本事業名		広聴事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづ					
	施策(大区分)	01 町民との協働によるまちづくり					
	施策(中区分)	06 広聴の充実					
	施策(小区分)	01 町民からの相談体制の充実					

事業の概要	町民からの要望、苦情、相談などの総合的窓口として、関係部署と連携を図り対応する。特に町民相談は人権擁護委員と調停委員が一緒に、毎月1回定例的に「悩み心配ごと相談」を開設。緊急性ある案件には相談員と調整し対応を図る。また「定例行政相談」への受付・相談場所の提供支援を継続する。
-------	--

対 象	一般町民・団体
目 的	町民の悩み・心配ごとの解消

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
相談所開設数	定例・特設を含めた相談所開設の回数	回	14	14	14	14

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		2,422	45	45
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	1,000		0
	地方債	0		0
	その他特定	0		0
	一般財源	1,422	45	45

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大

コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	町民への相談機会を恒常的に提供している
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	町民からの相談を聴く体制は充実している
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	専門性や広い知識、経験を持つ各種相談員の対応は町民にも安心して受け入れられている



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	広聴事業	相談場所については、基本的には「庁舎相談室」を利用することでプライバシーの確保を図り、二人体制で相談を受け付けすることにより、正確な相談内容の把握、適切な対応ができるような体制を図った。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	特記事項無
	1年以内に実施可能な改善提案	相談員同士での情報交換の場があると、今後の相談業務に生かすことができる
	2～3年以内に実施可能な改善提案	定例等含めたの定例相談の開設数を減らさず、維持をしていく
改善状況	改善効果	各種相談員同士の情報交換で、資質向上にもつながっている
	改善の阻害要因	特記事項無し
	住民への影響及びフォロー	普段の生活における心配ごと・不安解消に資することができている

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 まちづくりグループ	内線
	まちづくり主幹 田中三智	345

28

事後評価シ－ト
(主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書)

基本事業コード		02010801		担当グループ名		総務部 まちづくりグループ 住民活動担当	
基本事業名		住民活動推進事業					
総合計画の位置づけ	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづ		01 人を創り、地域力を高めるまちづ		01 人を創り、地域力を高めるまちづ	
	施策(大区分)	01 町民との協働によるまちづくり		04 地域の安全対策の充実		01 町民との協働によるまちづくり	
	施策(中区分)	03 コミュニティ活動の促進		03 防犯対策の推進		09 男女共同参画社会の推進	
	施策(小区分)	02 コミュニティ施設への支援		01 防犯・暴追など各活動推進		01 男女共同参画についての理解促進	
事業の概要		地域コミュニティ活動を進めるため、集会室事業・くらし安全活動事業・男女共同参画推進事業やまちづくり活動奨励事業など、住民活動に係る幅広く事業推進を図る。					

対 象	自治会・自治会連合会・関係団体
目 的	地域コミュニティ活動の推進・活性を図る

基本事業指標		指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
地域集会室		地域集会施設の箇所数	箇所	21	21	21	21

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重点化	
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果		
			決算額	決算額	予算額								
1	★	地域集会室維持管理事業	地域集会室(数)	21 4,046	21 4,126	5,573	どの集会室施設も老朽化しており、施設の修理修繕が増える傾向。予定外に規模の大きい修繕も伴うことがある。	妥当	普通	高い	維持	維持	○
2	★	くらし安全活動推進事業	町民全体への効果のために団体と広く関わる(団体)	4 1,788	4 4,746	2,019	ふるさと祭りなど、大きな町民的な行事を開催したり、防犯や暴迫に関する啓発活動による意識を高める。	検討	普通	検討	維持	維持	
3	★	男女共同参画プラン推進事業	補助団体数(団体)	1 47	1 42	130	プラン協議会の活動を町は支援協力することで、町民に広く男女共同参画社会の実現に向けた理解を深める。	妥当	普通	高い	維持	維持	
4	★	まちづくり活動奨励事業	補助交付件数(件)	2 645	1 439	2,000	団体等から提案される事業企画・内容が広く町民に還元され波及効果も広まるよう、事業効果に期待する。	妥当	普通	検討	維持	維持	
5	★	コミュニティ活動促進事業	町内の全自治会数(団体)	67 4,778	67 5,671	6,148	自治会活動の中心を担っている役員高齢化も今後の課題となってくる。自治会の活動範囲や役目も以前より広く多い。	妥当	高い	高い	維持	拡充	○
6	★	地域集会室補修等整備事業	修繕件数(件)	3 2,407	4 5,296	3,880	集会室施設の老朽に伴う突発的な修繕が増えており、一件あたりの修繕規模や経費負担が大きくなる傾向。	妥当	高い	高い	拡大	維持	◎

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		13,711	20,320	19,750
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	0		0
	地方債	0		2,880
	その他特定	2,674		4,218
	一般財源	11,037	20,320	12,652

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
					コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点		左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？	
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？	適切である	理由等 各事務事業の波及効果が反映できている
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？	妥当である	理由等 推進に必要な事業内容が多く網羅されて実施している
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？	妥当である	理由等 町民の活動支援をする事業が中心であり、主体が自治会や関係団体であり妥当



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	地域集会所維持管理事業	公共施設等総合管理計画により、集会所施設を適正に維持管理する計画を図る。
	くらし安全活動推進事業	町が美幌町ふるさと祭り運営・開催の全面的支援と、防犯・暴走活動への協力を団体と一緒に進めることで、町民全体に安全で安心なまちづくりに資することとする。
	男女共同参画プラン推進事業	研修派遣の人員増によるリーダー的役割の人材育成や、講演会開催の動員を図り広く啓発を浸透させる
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	町と自治会や団体が協働してコミュニティ活動を推進していく
	1年以内に実施可能な改善提案	男女共同参画を推進するプラン協議会委員が研修参加の機会を増やす。また、ふるさと祭り運営改善に向け、寄せられた意見や反省点を委員会で議論し可能なものは実行して、広く町民に受け入れられる運営に努める
	2～3年以内に実施可能な改善提案	集会所施設の修理修繕には計画性を持ち長寿命化を図る
改善状況	改善効果	自治会連合会や単位自治会、防犯関係団体ははじめとして、普段より良好な関係を保ちながら、一緒に事業推進している
	改善の阻害要因	自治会や組織団体の役員などの高齢化が進んでいる
	住民への影響及びフォロー	町民全体に及ぶ事業が多く町民の意見等を参考として事業に反映しながら、事業充実を図る

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	総務部 まちづくりグループ まちづくり主幹 田中三智	内線 345
----------------------	-------------------------------	-----------

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		02010701		担当グループ名		総務部 まちづくりグループ 交通安全担当	
基本事業名		交通安全対策推進事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換	01 人を創り、地域力を高めるまちづ	01 人を創り、地域力を高めるまちづ			
	施策(大区分)	01 雇用の拡大、安定	04 地域の安全対策の充実	04 地域の安全対策の充実			
	施策(中区分)	01 企業誘致の推進	02 交通安全活動の推進	02 交通安全活動の推進			
	施策(小区分)	02 町の資源や特性を活かせる企業の	04 交通安全指導体制の強化	02 交通安全学習機会の充実			

事業の概要	町民一人ひとりの交通安全への意識高揚を図るため、組織・団体など協働しながら啓発活動に取り組む。
-------	---

対 象	町民が交通事故にあわない、起こさない。
目 的	町民や町内での交通事故や死亡事故を無くして、安全安心なまちを目指す

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
交通安全啓発運動状況	交通安全運動の動員数	人	8,003	8,200	9,323	8,200

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		9,434	11,003	10,931
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	3,278	3,894	3,895
	一般財源	6,156	7,109	7,036

【今後の方向性】					
成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	町民全体の取り組み状況が把握できる数値指標
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	啓発活動は実施開催を毎回積み重ねて、永続していく
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町と関係団体も含めた、全町的な取り組みになっている



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	交通安全事業	協力団体と十分に調整を図り、効果的に教室・啓発を実施する
	交通安全関係団体支援事業	活動情報を一緒に共有して、啓発計画においても、一緒に協働して関わりを持つなかで、実施していく。
		交通運動期間中や交通安全教室での指導等の強化
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	団体や町民からアイデア・提言などを啓発活動に反映していく
	1年以内に実施可能な改善提案	関係団体との調整を十分図ることで、効果的な啓発活動を展開実施する
	2～3年以内に実施可能な改善提案	高齢者への交通安全対策として、免許証の自主返納に取り組む
改善状況	改善効果	交通安全への啓発活動が、各団体での主体的な活動をしている
	改善の阻害要因	活動人材の高齢化
	住民への影響及びフォロー	これまで以上に高齢者の交通安全対策が底上げされる

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 まちづくりグループ まちづくり主幹田中三智雄	内線 345
----------------------	-------------------------------	-----------

28

事後評価シートの
(主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書)

基本事業コード		02010501		担当グループ名		総務部 まちづくりグループ 政策担当	
基本事業名		政策推進事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	01	人を創り、地域力を高めるまちづ				
	施策(大区分)	01	町民との協働によるまちづくり				
	施策(中区分)	01	町民主権による自治の推進				
	施策(小区分)	01	自治基本条例の適正な運用				
事業の概要		平成23年4月施行の美幌町自治基本条例に基づく理念を啓発する。町民、NPO等と協働し、町民が主役のまちづくりを推進する。また、総合計画の基本構想及び基本計画に掲げた政策や施策の内容をより具体的に示しながら推進、進捗管理を行う。					
対 象		町民					
目 的		町民が町政に参加し、まちづくりに主体的にかかわるようにする。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
アクションプランの達成率	達成数／アクションプラン数×100	%	74	80	100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重点化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	まちづくり推進事業	まち育新聞の発行(回)			まち育新聞の内容充実	妥当	高い	検討	拡大	拡充	
			1	1								
			323	298	282							
2		政策推進事務	各種制度説明会等参加回数(回)				妥当	普通	高い	維持	維持	
			3	1								
			88	2,264	76							
3	★	ふるさと寄附金事業	寄付件数(件)			ふるさと納税の競争が激化し、本町よりも還元率の高い返礼品を用意する自治体に寄附が集中している。	妥当	高い	検討	拡大	拡充	◎
			3,211	1,710								
			79,224	39,413	30,869							
4	★	町史編さん事業	町史編さん進捗率(%)				妥当	高い	高い	維持	維持	
			40	75								
			11,204	12,264	9,138							
5	★	地域おこし協力隊事業	隊員の採用人数(人)			隊員の応募数を上回る人数の応募があったが、「地域おこしの任務」が曖昧だったため、採用辞退という結果となった。	妥当	高い	検討	拡大	拡充	○
				0								
			0	1,517	1,523							
6	★	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業	まち・ひと・しごと創生推進委員会開催回数(回)			PDCAサイクルを通した効果検証を行い、改善を図ってはいるものの人口減少に歯止めはかかっている。	妥当	高い	高い	維持	維持	○
			6	6								
			3,213	932	1,287							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		94,052	56,688	43,175
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	78,633	0	30,000
	一般財源	15,419	56,688	13,175

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
					コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？	
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？	
	適切である	理由等 事業目的である「町民主体の自治」を実現するための進行管理及び推進のため。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？	
	妥当である	理由等 政策を推進する上で、必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？	
	妥当である	理由等 他の実施主体は考えられない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	まちづくり推進事業	自治基本条例の周知拡大、まち育新聞の発行回数の増
	ふるさと寄附金事業	宣伝方法や謝礼品を見直して新規及びリピーターの増加（確保）を図る。また、返礼品の見直しだけでなく寄附金の活用方法によって寄附者が集えるよう中身を見直す。
	地域おこし協力隊事業	面接時に「地域おこしの任務」を明確に伝える工夫が必要。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	新たな返礼品の追加、内容の見直し。 まち育新聞の内容充実。
	1年以内に実施可能な改善提案	寄附金の使い途としての事業の選定。 自治基本条例の周知度の向上。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	

改善状況	改善効果	「ふるさと寄附金」に関しては、他自治体との差別化を図った取り組み（希少な謝礼品や事業立て）を行うことにより、寄附の増加や、交流人口等の増加も期待される。
	改善の阻害要因	ふるさと寄附金の取組自治体が増え、多種多様な返礼品に対抗できる物を用意するのが困難。
	住民への影響及びフォロー	特産品や地場産業への波及効果や交流人口の増加が期待され、商店街等が活性化される。ゆくゆくは、移住・定住にもつながる。

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	総務部 まちづくりグループ 政策主幹 小室 秀隆	内線 326
----------------------	-----------------------------	-----------

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		02010502	担当グループ名		総務部 まちづくりグループ 政策担当
基本事業名		行政改革推進事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづ			
	施策(大区分)	02 持続可能な行財政システムの確立			
	施策(中区分)	06 行政改革の推進			
	施策(小区分)	01 行政改革実施計画の推進及び行政			
事業の概要		効率的、効果的な行政経営の実現に向けて、平成２８年度に策定した「美幌町行財政改革大綱（第４次）」を推進するための「第１次実施計画（Ｈ２８～Ｈ３０）」の進捗管理を行う。また、平成２７年度から本格稼働した行政評価を推進する。			
対 象		職員、役場組織			
目 的		効率的で効果的な行政経営を推進する。			

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
実施計画の達成率	達成数/計画数×100	%	85	80	139	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重点化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	行政改革推進事業	実施計画項目達成率(%)			目標達成に向けた継続取り組みを実施中で、期間内で実施達成もあり、着実に進捗している。	妥当	高い	高い	維持	拡充	◎
			85	139								
			190	297	168							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		190	297	168
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			0
	一般財源	190	297	168

【今後の方向性】

成果の方向性

拡充

維持

縮小

休廃止

×

×

×

廃止

×

×

×

×

協働化

効率性向上

縮小

×

生産性向上

現状維持

×

×

拡大基調

×

×

×

皆減

縮小

維持

拡大

コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	計画がどの程度実施されたのか、継続して確認していくことは重要
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	普遍的な課題であり、継続して取り組む必要がある
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町以外実施主体とはなり得ない



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	行政改革推進事業	継続して改善に取り組んでいる事務事業が停滞しないよう、行革推進委員会を活用して外部から評価をもらう。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	事務事業を考えながら、業務の見直しや効率につながる提案・改善を日常から意識して実施する。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	町予算の効率的執行や、職員の効率的な配置が期待できる。
	改善の阻害要因	他団体と協議が必要となる案件には、進ちょく状況が遅くなる傾向がある。
	住民への影響及びフォロー	役場業務、事業の効率が進むことで、住民サービスの向上につながる。

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	総務部 まちづくりグループ 政策主幹 小室 秀隆	内線 326
----------------------	-----------------------------	-----------

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		04020101		担当グループ名		民生部 環境生活グループ 環境衛生担当	
基本事業名		ごみ分別収集関連事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、	02 自然の美しさやくらしの安心を、	02 自然の美しさやくらしの安心を、			
	施策(大区分)	08 ごみ処理、リサイクルの推進	08 ごみ処理、リサイクルの推進	08 ごみ処理、リサイクルの推進			
	施策(中区分)	01 ごみ処理体制の充実	02 ごみの減量化とリサイクルの推進	01 ごみ処理体制の充実			
	施策(小区分)	01 分別の徹底に向けた取組と効率的	01 ごみの減量化とリサイクルの推進	02 ごみ処理施設の適正な維持管理			
事業の概要		各家庭から排出されるごみの収集を行うとともに、ゴミ分別の指導を行い、ごみの減量化や資源の再利用を図る。					

対象	全町民
目的	ごみの減量化とリサイクル率の向上

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
ごみ収集量	年間のごみ収集量	t	7,771	6,800	7,306	6,800

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当 性	有 効 性	効 率 性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	ごみ収集運搬事業	ごみ収集量(t)				妥 当	高 い	高 い	維 持	維 持	◎
			7,771	7,306								
			63,651	66,071	65,424							
2	★	リサイクル事業	BDF製造量(ℓ)				妥 当	高 い	高 い	維 持	維 持	
			95	973								
			1,421	1,781	1,999							
3	★	資源ごみ収集運搬事業	資源ごみ収集量(t)				妥 当	高 い	高 い	維 持	維 持	○
			1,767	1,716								
			34,801	35,456	35,142							
4		指定ごみ袋売りさばき事業	売り払い枚数(枚)				妥 当	高 い	高 い	維 持	維 持	
			654,460	648,005								
			21,018	9,917	11,066							
5		ごみ分別辞典作成事業	全戸配布(回)				妥 当	高 い	高 い	－	完 了	
				1								
			0	2,671	0							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		120,891	115,896	113,631
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	0		0
	地方債	0		0
	その他特定	77,210		70,299
	一般財源	43,681	115,896	43,332

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	
基本事業を構成する 事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 環境生活グループ 環境生活主幹 佐々木 斉	内線 230
----------------------	------------------------------	-----------

28

事後評価シートの
(主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書)

基本事業コード		03010301		担当グループ名		民生部 保健福祉グループ 高齢者福祉担当	
基本事業名		高齢者福祉推進事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、	02 自然の美しさやくらしの安心を、	02 自然の美しさやくらしの安心を、			
	施策(大区分)	02 高齢者福祉の充実	02 高齢者福祉の充実	02 高齢者福祉の充実			
	施策(中区分)	02 自立生活の支援	06 高齢者の社会参加、生きがい活動	05 高齢者福祉施設の整備			
	施策(小区分)	04 生活環境の整備	01 高齢者の就労に対する支援	02 高齢者のニーズに合った多様な住			
事業の概要		地域福祉活動の推進と高齢者等の社会参加					

対 象	高齢者及び特別養護老人ホーム等
目 的	高齢者福祉に係わる活動の支援のため

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
みどり就労センター就業率	就業人数÷会員数	%	100	100	94	100
成年後見制度相談件数	相談件数	件	17	36	12	36

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当 性	有効 性	効率 性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	地域福祉活動支援事業	除雪機貸与台数(貸与台数)				妥 当	高 い	高 い	維持	維持	
			17	21								
			1,181	3,152	1,494							
2	★	みどり就労センター支援事業	就業率(%)				妥 当	高 い	高 い	維持	維持	
			100	94								
			3,312	3,777	3,793							
3		高齢者福祉事務	補助対象者(人数)				妥 当	高 い	高 い	維持	維持	
			33	33								
			3,141	3,038	4,372							
4	★	緑の苑移転改築補助事業	対象事業者(法人)				妥 当	高 い	高 い	維持	維持	
			1	1								
			28,067	28,067	28,067							
5	★	緑の苑多床室運営費補助事業	補助対象者(人数)				妥 当	高 い	高 い	維持	維持	
			20	20								
			2,280	2,286	2,380							
6	★	成年後見制度推進事業	相談件数(件)				妥 当	高 い	高 い	維持	維持	
			17	12								
			1,015	953	1,195							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		38,996	41,273	41,301
財源内訳	国庫補助金	0	79	225
	道支出金	2,102	3,253	2,614
	地方債	0	0	0
	その他特定	28,067	28,067	28,080
	一般財源	8,827	9,874	10,382

【今後の方向性】

成果の 方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	地域福祉活動が円滑に推進できるようにすることと、高齢者等の社会参加を目的に行っている。各自治会のたすけあいチームに小型除雪機を貸与し、高齢者宅等の間口除雪を実施している。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	高齢者等の社会参加については、みどり就労センターにおいても就業率が100%となっている。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	高齢者宅等の間口除雪については、町が小型除雪機を各自治会のたすけあいチームに貸与し、たすけあいチームが行っている。高齢者等の就労支援については、みどり就労センターに補助金を支出して行っており妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	民生部 保健福祉グループ 福祉主幹 遠藤 明	内線 350
----------------------	---------------------------	-----------

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		03010503		担当グループ名		民生部 保健福祉グループ 障がい福祉担当	
基本事業名		障害者自立支援事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、					
	施策(大区分)	03 障がい者福祉の充実					
	施策(中区分)	02 障がい者の自立生活の支援					
	施策(小区分)	01 福祉サービスの提供体制の充実					

事業の概要	個々の障がいのある方々の障がい程度や勘案すべき事項（社会活動や介護者、居住等の状況）を踏まえ、個別に決定する「障害福祉サービス」と、町の創意工夫により利用者の方々の状況において柔軟に実施できる「地域生活支援事業」を総合的に行う。
-------	--

対 象	障がい者
目 的	自立した日常生活、社会生活を営むことができるようにする。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
障害福祉サービス給付費の総件数	給付件数	件	4,254	4,300	4,462	4,400
地域生活支援事業の利用件数	利用件数	件	902	1,000	1,056	1,050

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		599,619	636,206	681,858
財源内訳	国庫補助金	289,064	307,414	330,293
	道支出金	145,282	155,598	165,725
	地方債	0	0	0
	その他特定	30	1,022	1
	一般財源	165,243	172,172	185,839

【今後の方向性】					
成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	障害者総合支援法は、障がい者が地域で安心して暮らし、サービスを必要とする方にサービス提供できることを目的としている。また、地域の創意工夫による地域生活支援事業を実施しており、概ねサービス提供が達成されている。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	自立した日常生活、社会生活を営むための事業で構成されており、妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	法律に基づく事業であり、他の実施主体は考えられない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	地域生活支援事業	事業内容を検討する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 保健福祉グループ 福祉主幹 遠藤 明	内線 350
----------------------	---------------------------	-----------

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		04010101		担当グループ名		民生部 保健福祉グループ 健康推進担当	
基本事業名		保健衛生推進事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 自然の美しさや暮らしの安心を、		01 人を創り、地域力を高めるまちづ			
	施策(大区分)	05 保健予防対策の推進		01 町民との協働によるまちづくり			
	施策(中区分)	01 総合的な保健体制の充実		01 町民主権による自治の推進			
	施策(小区分)	01 健康づくりの推進や保健医療体制		01 自治基本条例の適正な運用			
事業の概要		町の保健医療体制の整備、推進を行うため関係機関、団体等を支援する。					
対 象		各種保健・医療関係団体					
目 的		各団体の活動を支援し、保健医療体制の整備、推進を図る。					

基本事業指標		指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
休日・祝祭日・年末年始の在宅当番医開		在宅当番医開設割合	%	100	100	100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重点化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	保健衛生推進事務	休日当番医開設割合(%)				妥当	普通	高い	維持	維持	○
			100	100								
			3,898	3,893	4,124							
2		各種団体負担事業	各種保健・医療関係団体数(団体数)				妥当	普通	高い	維持	維持	
			5	5								
			754	754	754							
3	★	救急告示公の病院等運営費補助事業	救急告示公の病院数(病院)				妥当	普通	高い	維持	維持	
			2	2								
			5,000	5,000	5,000							
4	★	医療従事者就業支援等補助事業	補助該当者数(%)				妥当	普通	高い	維持	拡充	
			100	100								
			4,684	5,704	7,400							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		14,336	15,351	17,278
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	4,600	0	7,400
	その他特定	1,260	1,268	1,260
	一般財源	8,476	14,083	8,618

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	廃止	廃止	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	保健医療体制の整備、推進のため
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	保健医療体制の整備、推進のため必要不可欠な事業である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	各種保健・医療関係団体等への支援のため



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等	
休廃止する事務事業名	休廃止する理由	

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	医療従事者就業支援等補助制度のPRの推進
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	さらにPRすることで制度が浸透し、看護師等医療従事者の雇用が促進され、医療の安定的な確保が図られる。
	改善の阻害要因	医療従事者就業支援等補助金は、H28年度予算額5,705千円と財政負担が大きい。
	住民への影響及びフォロー	潜在看護師等の掘り起こし、社会参加への誘導効果が期待される。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 保健福祉グループ 健康推進主幹 武田 孝司	内線 360
----------------------	------------------------------	-----------

(主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書)

基本事業コード		04010204	担当グループ名		民生部 保健福祉グループ 健康推進担当
基本事業名		健康づくり事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、			
	施策(大区分)	05 保健予防対策の推進			
	施策(中区分)	02 保健予防、保健指導の推進			
	施策(小区分)	01 生活習慣病予防のための各種健（			

事業の概要	健康増進法に基いた成人期等を対象とする健康教育、健康相談、健康診査により生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を促し、住民の健康増進を図る。
-------	---

対 象	町民（成人期、高齢期）
目 的	健康の保持増進

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
大腸がん受診率	大腸がん受診数／対象数	%	16.1	20	8.8	20
健診結果相談会来所率	健診結果相談会来所者／健診者	人	47.3	50	50.7	50
ヘルシーター活動推進事業実施回数	養成講座、伝達講習、学習会実施回数	回	13	20	20	12
健康増進計画推進会議回数	健康増進計画推進会議実施回数	回	1	1	1	4

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		20,928	26,280	32,218
財源内訳	国庫補助金	199		131
	道支出金	486		780
	地方債	0		0
	その他特定	9,950		15,410
	一般財源	10,293	26,280	15,897

【今後の方向性】					
成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	健康づくり事業を推進を図るためには、適切な指標である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	他に担える団体等がない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	各種がん健診等実施事業	子宮がん、乳がん、大腸がんの併用検診（レディース検診）を実施し、受診者の利便性を高め受診者数の増加を図る。
	健康診査実施事業	後期高齢者の歯と口腔の疾病予防と早期発見により生活の質を確保し、健康の保持増進を図る。
	健康教育相談事業	「美幌町第Ⅱ期健康増進計画」が平成２９年度で終了するので、新たな５ヶ年計画を策定する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	１年以内に実施可能な改善提案	子宮頸がん、乳がん、大腸がん併用検診（レディース健診）を実施し、受診者の利便性を高め受診者数の増加を図る。 後期高齢者の歯科健診を実施し、健康の保持増進を図る。
	２～３年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診の受診率向上が期待される。 後期高齢者の歯と口腔の疾病予防と早期発見により健康の保持増進が図られる。
	改善の阻害要因	予算（検査委託料等）を要する。
	住民への影響及びフォロー	疾病の早期発見、早期治療により医療費の削減が図られる。 町民の健康保持及び増進が図られる。

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	民生部 保健福祉グループ	内線
	健康推進主幹 武田 孝司	360

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		04010501		担当グループ名		民生部 保健福祉グループ 健康推進担当	
基本事業名		保健福祉総合センター管理運営事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	02	自然の美しさやくらしの安心を、				
	施策(大区分)	05	保健予防対策の推進				
	施策(中区分)	05	健康づくりの推進				
	施策(小区分)	04	保健福祉総合センターの施設整備				

事業の概要	保健福祉総合センターの施設維持管理及び運動指導室・健康遊浴室の運営管理
-------	-------------------------------------

対 象	保健福祉総合センター利用者
目 的	施設の利用により、健康づくりを推進する。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
保健福祉総合センター施設各室利用者数	施設（ホール、会議室、運動指導室等）	人	94,443	87,000	101,208	87,000
運動指導室及び健康遊浴室利用者数	日報集計	人	46,897	45,000	49,723	45,000

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		64,687	52,594	48,669
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	0		0
	地方債	19,600		0
	その他特定	15,728		17,242
	一般財源	29,359	52,594	31,427

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大

コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	施設利用者は、健康づくりの推進を図るためには適切な指標である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	平成25年度から運動指導室等管理運営の経費削減や保健事業との一体的推進のために直営化した。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	保健福祉総合センター維持	機械器具等の備品の計画的な修繕や更新を実施する。
	保健福祉総合センター整備	正面玄関庇及び軒天井を修繕する。
	保健福祉総合センター運営	臨時職員の賃金は、他の臨時職員と比較して低いため賃金単価の増額を行う。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	施設利用者のニーズを反映するなど運動指導員が実施する運動教室のメニューを検討研究し、運動指導室等の新規利用者の増及び継続利用者の維持に努める。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	利用人数増への効果が期待される。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	町民の健康づくりの推進が図られる。 急な故障が発生した場合、長期の休館も考えられ利用者への影響が懸念される。

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	民生部 保健福祉グループ	内線
	健康推進主幹 武田 孝司	360

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		04010102		担当グループ名		民生部 保健福祉グループ 民生担当	
基本事業名		乳幼児医療費助成事業					
総合計画の位置づけ	基本目標	02 自然の美しさや暮らしの安心を、	02 自然の美しさや暮らしの安心を、				
	施策(大区分)	04 子育て支援の充実	04 子育て支援の充実				
	施策(中区分)	01 次世代育成支援	06 母子保健の推進				
	施策(小区分)	02 子育て世代への支援	02 経済的支援の充実				
事業の概要		乳幼児等に対し、医療費の一部を助成することにより、保健の向上に資するとともに福祉の充実を図る。					
対 象		乳幼児等の保護者					
目 的		医療費の一部を助成し、保健の向上及び負担の軽減を図る。					

基本事業指標		指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
受給者証交付者数		医療費受給者証の交付者数	人	897	900	882	900

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥 当 性	有 効 性	効 率 性	コ ス ト	成 果	
			決 算 額	決 算 額	予 算 額							
1	★	乳幼児等医療費助成事業	受給者数(人)				妥 当	高 い	高 い	拡 大	拡 充	◎
			897	882								
			24,865	23,968	26,811							
2	★	養育医療給付事業	受給者数(人)				妥 当	高 い	高 い	維 持	維 持	
			5	6								
			2,171	1,360	2,228							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		27,036	25,328	29,039
財源内訳	国庫補助金	765	463	892
	道支出金	10,355	9,814	10,762
	地方債	0	0	0
	その他特定	279	443	551
	一般財源	15,637	14,608	16,834

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
					コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	北海道給付事業に基づく給付手続を行う事業であり、適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	乳幼児等家庭の医療費負担軽減を図るため、北海道の基準に町独自の上乗せ助成を行っている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	乳幼児等医療費助成事業は扶助事業である。また、養育医療給付事業は平成25年度より北海道から権限移譲されているため、他の実施主体は考えられない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 保健福祉グループ 福祉主幹 遠藤 明	内線 350
----------------------	---------------------------	-----------

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		03020101		担当グループ名		民生部 児童支援グループ 業務担当	
基本事業名		児童福祉事務					
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、	02 自然の美しさやくらしの安心を、				
	施策(大区分)	04 子育て支援の充実	04 子育て支援の充実				
	施策(中区分)	01 次世代育成支援	03 保育園(所)の充実				
	施策(小区分)	01 子ども・子育て支援事業の推進	03 0歳児保育・休日保育の推進				

事業の概要	子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育てをめぐる現状と課題に対して、社会全体による費用負担を行いながら、「質の高い幼児期学校教育・保育の総合的な提供」「保育の量的・拡大」「地域の子ども・子育て支援の充実」に向けた取り組みを推進していく。
-------	---

対 象	町内に居住する児童及び保護者
目 的	安心して子育てができる環境を整備するため。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
協議会設置件数	協議会設置件数	件	1	1	1	1
施設型給付費支給施設数	施設型給付費支給施設数	件	3	3	3	3
補助対象民間保育園数	補助対象民間保育園数	園	1	1	1	1

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		102,661	119,019	143,339
財源内訳	国庫補助金	30,010	34,041	43,014
	道支出金	26,878	28,607	35,431
	地方債	0	0	0
	その他特定	117	793	0
	一般財源	45,656	55,578	64,894

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点		左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？	
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？	適切である	理由等 児童福祉の向上を図るためには、適切な指標である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？	妥当である	理由等 必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？	妥当である	理由等 行政が担えない部分は、NPO法人等民間事業所をお願いしている。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	次世代育成支援推進事業	子ども・子育て支援新制度に伴い、認定子ども園に対し入園者分の施設型給付費を支払う。
	民間保育園利用者補助事業	認可外保育所利用者増に対する補助金予算の増額及び平成28年度から実施している保育料の多子軽減について、一定基準の所得層に対し更に拡大して補助を行う。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	子ども・子育て支援新制度の導入により、認定子ども園等に対し施設型給付費を支給する。 民間保育園に通園している利用者の保護者に対し、多子軽減を含めた保育料の一部を補助する。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	子ども・子育て支援事業計画に策定された事業を展開していく。
改善状況	改善効果	子ども・子育て支援新制度の導入により、子育て世帯の負担軽減が図られる。 民間保育園に通園している利用者の保護者に対し、保育料の一部を補助することにより、経済的な支援が図られる。
	改善の阻害要因	子ども・子育て支援新制度の財源が、延期となった消費税のアップ分を充当することにしており、十分とは言えない財源でどこまで賄えるのか未知数である。
	住民への影響及びフォロー	子ども・子育て支援事業計画を着実に推進することにより、子育て支援の充実が図られる。

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	民生部 児童支援グループ 児童支援主幹 多田敏明	内線 260
----------------------	-----------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		03020102		担当グループ名		民生部 児童支援グループ 子ども発達支援セ	
基本事業名		子ども発達支援センター運営事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、					
	施策(大区分)	03 障がい者福祉の充実					
	施策(中区分)	03 障がい者福祉施設の整備					
	施策(小区分)	02 子ども発達支援センターの充実					

事業の概要	美幌町、津別町、大空町を圏域として運営する子ども発達支援センターは、児童福祉法に基づく指定障害児通所支援事業所であり、発達の遅れがある又は障がいを持つ幼児に対して、子どもに合わせた療育を行うとともに関係機関との連携を図り育成を助長する。
-------	--

対 象	心身に遅れや障がいを持つ幼児及び子どもの成長、発達に心配のある保護者
目 的	心身に遅れや障がいをもつ幼児の発達の支援や保護者の育児不安を解消に導き、積極的に子育てができるよう支援する。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
療育受入率	受入児童数/通所希望児童数×100	%	100	100	100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		14,209	13,890	14,698
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	1,563	851	324
	地方債	0	0	0
	その他特定	12,572	12,781	12,310
	一般財源	74	258	2,064

【今後の方向性】					
成果の 方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点		左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？	
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	心身に遅れや障がいを持つ幼児の発達の支援を重視した指標設定のため。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町内に担える団体等がない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	子ども発達支援センター運	療育室が不足しているため、平成28年度をもって閉所した中央保育所を改修して移転し、利活用を図る。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	療育室が不足しているため、平成28年度をもって閉所した中央保育所を改修して移転し、療育室の確保を図る。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	療育室を確保することによって、通所回数の増、体調不良等により予定外の欠席に対しての振替の提供、それぞれの都合に合った、通所時間の提供ができる。
	改善の阻害要因	中央保育所跡を使用するため、改修等にかかる経費。
	住民への影響及びフォロー	障がい者福祉の充実が図られる。

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	民生部 児童支援グループ 児童支援主幹 多田敏明	内線 260
----------------------	-----------------------------	-----------

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		06010401		担当グループ名		経済部 農政グループ 農政担当	
基本事業名		農業振興事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換		03 まちの資源や持ち味を、活力に換			
	施策(大区分)	02 農業の振興		02 農業の振興			
	施策(中区分)	02 担い手の育成確保と生産性の向上		01 農業生産環境の保全・整備			
	施策(小区分)	05 農業経営に関する支援体制の充実		02 農村地区環境保全対策事業の推進			
事業の概要		農業経営、農業振興事業を円滑に進めるため、農業者や関係団体への支援により地域農業の推進を図る。					
対 象		農業経営者、農地所有適格法人、美幌町農業実態調査委員会、美幌町農業機械化協議会、豊栄地区営農用水施設					
目 的		農業経営の安定化・効率化により作物の生産性向上を支援する。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
農作業事故死亡件数ゼロ件	年間の死亡事故発生件数	件	0	0	0	0
受益農家の維持	当年の給水戸数	戸	28	28	29	28
甜菜作付面積の維持	平成25年甜菜作付面積の9割	ha	2,436	2,270	2,433	2,270
交付対象者の申請件数率	交付対象者／申請件数	%	100	100	100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥 当 性	有 効 性	効 率 性	コ ス ト	成 果	
			決算額	決算額	予算額							
1		農業推進事務	農作業事故死亡件数ゼロ件(件)			目標達成された。	妥 当	普 通	検 討	維 持	維 持	
			0	0								
			2,817	1,315	1,759							
2	★	てん菜育苗センター助成事業	甜菜の作付面積(ha)			目標達成された。	妥 当	普 通	検 討	縮 小	維 持	
			2,436	2,433								
			2,577	2,178	2,690							
3		経営所得安定対策推進事業	当年の交付申請率(100%)(%)			目標達成出来た。(交付対象者343名)	妥 当	普 通	検 討	維 持	維 持	
			100	100								
			4,090	2,011	2,100							
4	★	農業情報提供事業	気象情報の閲覧回数(回)			天候が安定していた月の閲覧数が少なく、目標達成出来なかった。なお天候が不安定だった4・8月は閲覧数が多い。	妥 当	普 通	検 討	維 持	維 持	
			250,794	232,952								
			4,354	4,354	4,376							
5	★	豊栄地区営農用水維持管理事業	受益戸数の維持(28戸)(戸)			目標達成出来た。	妥 当	普 通	検 討	維 持	維 持	
			28	29								
			1,598	2,516	2,376							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		15,436	12,374	13,301
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	4,225		2,117
	地方債	0		0
	その他特定	2,153		1,749
	一般財源	9,058	12,374	9,435

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	廃止	廃止	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	農業生産の振興を重視した目標であり適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	農業生産の振興に必要な事業で構成されており妥当だ。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	農業関係団体、生産者に対する助成事業が主な事業内容であり妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	農業情報提供事業	観測機器は設置から15年以上経過している事から、安定的に気象情報を提供するためには、6ヵ所に設置している観測機器の更新及び設置箇所の検討が必要となる。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	気象観測機器は設置から15年以上経過していることから、気象観測機器の更新が必要となる。
改善状況	改善効果	安定して気象情報を提供出来る。
	改善の阻害要因	更新に伴う経費負担。
	住民への影響及びフォロー	安定して気象情報の提供が受けられる。

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	経済部 農政グループ	内線
	農政主幹 渡邊 靖行	240

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		06010403	担当グループ名		経済部 農政グループ 農政担当
基本事業名		経営体質強化対策事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換			
	施策(大区分)	02 農業の振興			
	施策(中区分)	02 担い手の育成確保と生産性の向上			
	施策(小区分)	05 農業経営に関する支援体制の充実			
事業の概要		農業経営改善計画達成を図るための資金（スーパーL資金）借入や、経営継承時における負債の長期一括借換に係る利子の一部を助成することにより、農業経営の安定と新たな経営づくりを支援する。			
対 象		農業経営者			
目 的		農業用施設整備等のために、資金借入に伴う利子の一部を助成し経営の安定化を図る。			

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
農業経営基盤強化資金繰上償還件数	年間の繰上償還件数	件	12	10	8	10

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		3,330	2,578	2,080
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	1,671		1,039
	地方債	0		0
	その他特定	0		0
	一般財源	1,659	2,578	1,041

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	早期に償還し経営の安定を図る指標であり適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	農業経営の体質強化に必要な事業であり妥当である。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	国の政策に基づく事業であり妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	経済部 農政グループ 農政主幹 渡邊 靖行	内線 240
----------------------	--------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		06020103		担当グループ名		経済部 農政グループ 農政担当	
基本事業名		林業施設維持管理事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	03	まちの資源や持ち味を、活力に換				
	施策(大区分)	03	林業の振興				
	施策(中区分)	04	森林の有効活用				
	施策(小区分)	02	木とふれあう場所の整備				

事業の概要	美幌みどりの村は、自然環境を活用しながら地域住民や都市生活者に体験学習や野外活動の普及を図り、地域住民の余暇の活用と保健休養による健康増進並びに、福祉・文化の向上を図る目的で建設された施設の管理運営を、みどりの村振興公社が指定管理者として行う。
-------	--

対 象	町民及び都市生活者等
目 的	自然環境を活用し地域住民や都市生活者に体験学習や野外活動の普及推進を図り、都市と農村の交流を深める。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
休憩施設利用者数	年間の休憩施設利用者数	人	799	900	984	900
森林公園利用者数	年間の森林公園利用者数	人	14,240	15,000	15,320	15,000

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		925	1,888	1,846
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	0		0
	地方債	0		0
	その他特定	0		0
	一般財源	925	1,888	1,846

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	利用者数を指標としており適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	事業構成は妥当であるが、さらに利用促進を図る必要がある。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	指定管理者制度で運営しており妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休憩施設管理事業	妥当だが、PR不足や新たな使用についての提案が必要だ。
	森林公園管理事業	妥当であるが、PRや検討が必要だ。
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	みどりの村あり方検討委員会の開催。 運営母体で有る、みどりの村振興公社職員の資質の向上。
	1年以内に実施可能な改善提案	みどりの村あり方検討委員会の提言に基づく各事業企画の見直し。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	利用者ニーズに基づいた施設や設備の計画的な修繕、改修の実施。
改善状況	改善効果	事業企画及び施設や設備の見直しを行うことで、より効果的に成果を上げることが出来る。
	改善の阻害要因	施設や設備の修繕、改修にかかる費用負担。
	住民への影響及びフォロー	住民及び利用者ニーズうい十分に把握した上で、見直しを行う必要がある。

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	経済部 農政グループ	内線
	経済部長 矢萩 浩	204

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		06010406		担当グループ名		経済部 農政グループ みらい農業センター担	
基本事業名		みらい農業センター管理運営事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換	03 まちの資源や持ち味を、活力に換	03 まちの資源や持ち味を、活力に換			
	施策(大区分)	02 農業の振興	02 農業の振興	02 農業の振興			
	施策(中区分)	02 担い手の育成確保と生産性の向上	03 新たな農業の展開	02 担い手の育成確保と生産性の向上			
	施策(小区分)	01 担い手対策及び花嫁対策の推進	01 みらい農業センターによる新規農	08 新規就農者支援の推進			

事業の概要	基幹産業である農業の更なる発展と新たな展開を推進するため、新規就農者（新規参入者）や新規農業従事者（農業後継者）の人材育成と、独自性・高い収益性が期待できる新規作物を積極的に地域へ導入するため、町の農業を活用した新規就農者等の育成と新規作物の調査・研修を行う。また、担い手対策として女性農業実習生を受け入れて本町農業の持続的な発
-------	---

対 象	新規就農者（新規参入者）や新規農業従事者（農業後継者）
目 的	今後の農業情勢の変化にも対応しうる強固な農業経営体の育成、女性実習生の受入による担い手対策を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
体験実習生の受入人数	年間の受入人数	人	4	4	4	4

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		26,677	22,754	26,356
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	9,629	16,480	10,257
	一般財源	17,048	6,274	16,099

【今後の方向性】					
成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点			左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	基本事業の目標を達成するための指標であり適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	基本事業の目標達成に向けた事業であり妥当である。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町の施設を活用した栽培実証試験や担い手育成研修及び、農業担い手実習生の受入など、関係団体の費用負担や、関係機関・団体との連携により実施しており妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	みらい農業センター農家青	給湯ボイラーの老朽化により、給湯までに時間を要することから、実習生受入環境整備として給湯ボイラーの更新を行うものとした。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	女性実習生の受入のための情報発信を行う。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	経済部 農政グループ	内線
	所長 午来 博	

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		06020101		担当グループ名		経済部 耕地林務グループ 森林担当	
基本事業名		有害鳥獣対策事業					
総合計画の位置づけ	基本目標	03	まちの資源や持ち味を、活力に換				
	施策(大区分)	02	農業の振興				
	施策(中区分)	01	農業生産環境の保全・整備				
	施策(小区分)	04	農作物への食害防止対策				
事業の概要		野生鳥獣の保護管理及び有害鳥獣の駆除及び駆除の適確な指導を行う。 (有害鳥獣駆除捕獲許可事務・有害鳥獣・捕獲業務・有害鳥獣駆除に関する奨励) 森林被害防止のため、野鼠駆除（ヘリ散布）を行う。					
対 象		有害鳥獣被害を受けている町民及び森林を保有している森林所有者					
目 的		鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、野生鳥獣の保護管理や、有害鳥獣の駆除及び駆除の適確な					

基本事業指標		指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
有害鳥獣許可による捕獲数		年間の捕獲数	羽・頭	1,284	1,400	1,267	1,400

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	有害鳥獣対策事業	有害鳥獣駆除許可による捕獲数(羽・頭)			概ね達成	妥当	高い	高い	維持	拡充	
			1,284	1,267								
			1,065	974	1,453							
								</				

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		1,065	974	1,453
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	0	0
	一般財源	1,065	974	1,453

【今後の方向性】

成果の方向性

拡充

維持

縮小

休廃止

×

×

×

廃止

協働化

効率性向上

縮小

×

生産性向上

現状維持

×

×

拡大基調

×

×

×

皆減

縮小

維持

拡大

コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	農林業被害及び人的被害を未然に防止するため適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	農林業被害及び人的被害を未然に防止するため、必要不可欠である。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	北海道猟友会美幌支部が実施するものであり、適切である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	有害鳥獣対策事業	市街地内での銃器使用が禁止しているため、市街地外周辺及び登栄終末処理場内で、一斉駆除を年数回実施した。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	猟友会会員の高齢化及び会員減少のため、狩猟（わな・銃器）の免許取得を推奨していく。
改善状況	改善効果	人的被害防止が、敏速に行われる。
	改善の阻害要因	免許取得及び銃器購入が高価なため。
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	経済部 耕地林務グループ 耕地林務主幹 伊成博次	内線 245
----------------------	-----------------------------	-----------

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		06020102		担当グループ名		経済部 耕地林務グループ 森林担当	
基本事業名		林業推進事業					
総合計画の位置づけ	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換	03 まちの資源や持ち味を、活力に換	03 まちの資源や持ち味を、活力に換			
	施策(大区分)	03 林業の振興	03 林業の振興	03 林業の振興			
	施策(中区分)	03 経営の近代化・効率化の推進	02 付加価値の向上	05 木質バイオマスの普及促進			
	施策(小区分)	01 林業グループの育成・組織強化及	02 FSC R 森林認証取得等による地域	01 木質の利活用推進			
事業の概要		FSC森林認証を核として、認証材の利用促進及び森林の二酸化炭素吸収機能の活用等により、本町林業の活性化を図る。					
対 象		FSC認証材・ペレットストーブ・町内森林・エコハウス・林業館「きてらす」					
目 的		普及促進等による林業全般の活性化を図る。					

基本事業指標		指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
FSC認証材使用量		年間のFSC認証材の使用量	m3	327	550	213	550

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重点化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1		林業推進事務	植樹祭等の回数(回)			目標を達成した	妥当	普通	高い	維持	維持	
			7	8								
			8,802	16,114	1,703							
2	★	町産材活用促進事業	FSC認証材使用量(m3)			目標を達成することができなかった	妥当	普通	高い	維持	維持	◎
			327	213								
			12,840	8,280	18,156							
3	★	木質ペレットストーブ購入促進事業	町内木質ペレットストーブ設置累計台数(%)			目標を達成することができなかった	妥当	高い	高い	維持	維持	
			58	60								
			2,187	701	4,032							
4		エコハウス維持管理事業	エコハウス見学・宿泊者数(人)			目標を達成した	妥当	普通	高い	維持	維持	
			780	963								
			3,823	3,868	2,908							
5	★	林業館管理事業	延べ入館者数(人)			目標を達成した	妥当	高い	高い	維持	拡充	
			20,437	50,075								
			1,672	7,035	3,604							
6	★	森林づくり推進事業	FSC森林認証林の面積(ha)			目標を達成した	妥当	高い	高い	維持	拡充	○
			4,029	4,458								
			0	0	0							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		29,324	35,998	30,403
財源内訳	国庫補助金	6,425	12,809	7,830
	道支出金	0	0	0
	地方債	2,100	700	4,000
	その他特定	8,322	7,004	1,509
	一般財源	12,477	15,485	17,064

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	FSC森林認証制度を活用し、森林・林業の活性化を図るため適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	森林・林業政策を推進するうえで、必要不可欠である。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	森林認証基準に基づいたものであり、妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	木質ペレットストーブ購入	ペレットストーブの台数を確保（新エネで100台）することにより、ペレット販売店との価格交渉を行う。
	林業館管理事業	エアコンの取付工事（3台）設置
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	経済部 耕地林務グループ 耕地林務主幹 伊成博次	内線 245
----------------------	-----------------------------	-----------

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		06020202		担当グループ名		経済部 耕地林務グループ 森林担当	
基本事業名		民有林振興対策事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換	03 まちの資源や持ち味を、活力に換				
	施策(大区分)	03 林業の振興	03 林業の振興				
	施策(中区分)	01 森林の整備	02 付加価値の向上				
	施策(小区分)	01 森林環境保全整備	01 森林認証林の拡大				

事業の概要	民有林の振興と地域林業の活性化及び林業労働者の労働条件の改善を図る。
-------	------------------------------------

対 象	森林所有者・林業従事者・森林組合
目 的	民有林の一層の振興を図り、森林資源の循環利用の推進を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
民有林の植栽面積	年間の民有林植栽面積	ha	207.79	200	179.63	200

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		41,044	35,533	37,128
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	22,512	19,536	20,160
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	0	0
	一般財源	18,532	15,997	16,968

【今後の方向性】					
成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	林業振興を目的として、適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	林業政策の推進するうえで、必要不可欠である。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	補助要領等に基づき、妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	民有林振興事業	高性能林業機械の開発及び雇用条件の見直し。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	経済部 耕地林務グループ 耕地林務主幹 伊成博次	内線 245
----------------------	-----------------------------	-----------

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		07010202		担当グループ名		経済部 商工観光グループ 商工労政担当	
基本事業名		商店街活性化促進事業					
総合計画の位置づけ	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換		03 まちの資源や持ち味を、活力に換		03 まちの資源や持ち味を、活力に換	
	施策(大区分)	05 商工業の振興		01 雇用の拡大、安定		05 商工業の振興	
	施策(中区分)	02 商店街の魅力向上		05 起業や新たな事業化、販路拡大の		02 商店街の魅力向上	
	施策(小区分)	04 賑わい、集客施設などハード整備		02 新規起業家に対する支援制度の充		05 スマッピーカード、町内消費拡大	
事業の概要		大型店の郊外進出、後継者不足、町外への消費流出等で形骸化、空洞化が進む中心市街地や各商店街の活性化を図るため、各商店街が実施しているイベント事業への支援、購買客の町内消費を促進する消費拡大事業への支援、中心市街地への出店を奨励する空き店舗活用事業等を行い、賑わいのある魅力あふれる商業市街地を形成し経済の活性化を図る。					
対 象		商店街（会）・事業主					
目 的		消費の拡大、経済活性化					

基本事業指標		指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
プレミアム商品券利用率		プレミアム商品券利用率	%	99.51	99	99.89	99
店舗リフォーム件数		年間の店舗リフォーム件数	件	31	20	27	15

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重点化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	商店街イベント事業	イベント回数(回)			より効果的な事業内容への見直しが必要である。	妥当	普通	検討	拡大	拡充	
			5	5								
			5,836	2,810	5,666							
2	★	起業家支援事業	起業件数(件)			制度創設から10件の起業となったが、以降件数の減少が見込まれる。	妥当	高い	高い	維持	維持	
			6	4								
			11,820	8,000	6,000							
3	★	プレミアム商品券発行事業	商品券利用率(%)			チャージ金額の変更要望がある。	妥当	高い	高い	縮小	維持	
			100	100								
			24,902	6,143	5,400							
4	★	子育て世帯応援事業	商品券利用率(%)			チャージ金額の変更要望がある。	妥当	高い	高い	拡大	維持	
			99	100								
			7,889	2,248	3,000							
5	★	店舗リフォーム促進支援事業	店舗リフォーム件数(件)				妥当	高い	高い	維持	維持	
			31	27								
			20,147	19,156	15,000							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		70,594	38,357	35,066
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	13,950	0	0
	地方債	20,147	16,300	14,400
	その他特定	1,573	0	2,000
	一般財源	34,924	22,057	18,666

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	廃止	廃止	×	×	×
	コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	維持	拡大	

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	商店街の活性化を図る上で必要な事業のため。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	消費喚起、顧客の集客力の向上を図る上で効果的な事業構成であるため。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	民間主導であるため。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	商店街イベント事業	開催するイベントを通して、商店街に継続的な集客が図られる内容への見直しを行う。
	起業家支援事業	更なる起業件数の増加を図るため、制度、事例紹介等のパンフレットを作成し、町HP、フェースブック等により制度のPRを行う。
	プレミアム商品券発行事業	一口あたりチャージ金額を10,000円から5,000円に変更
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	イベント内容の充実を図る。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	商店街に継続的な集客が図られる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	経済部 商工観光グループ	内線
	商工主幹 後藤秀人	255

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		07010301		担当グループ名		経済部 商工観光グループ 観光担当	
基本事業名		観光振興事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換	03 まちの資源や持ち味を、活力に換	03 まちの資源や持ち味を、活力に換			
	施策(大区分)	06 観光の振興	06 観光の振興	07 地域特産品の振興			
	施策(中区分)	01 総合的な推進体制、ビジョンの確	01 総合的な推進体制、ビジョンの確	01 地域特産品の開発・育成			
	施策(小区分)	01 「美幌町観光振興革新戦略(第2	02 観光に係る企業、団体との連携強	02 地域資源活用型特産品開発への支			
事業の概要		美幌町の地域個性を最大限に生かした観光振興施策を展開し、魅力ある観光地づくりを実施する。 ひがし北海道圏域との連携を強化し、観光客誘致の促進及び地域活性化等を図る。					
対 象		観光客、町民					
目 的		美幌町及びひがし北海道圏域へ新たに訪れる方及びリピーターを増やす。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
美幌峠における観光入込客数	年度ごとの観光入込客数	万人	80.6	81	71.3	81

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		17,656	12,384	14,595
財源内訳	国庫補助金	4,500		0
	道支出金	0		0
	地方債	0		0
	その他特定	120		0
	一般財源	13,036	12,384	14,595

【今後の方向性】					
成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	
基本事業を構成する 事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	特になし
	1年以内に実施可能な改善提案	特になし
	2～3年以内に実施可能な改善提案	特になし
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	経済部 商工観光グループ 観光主幹 那須 清二	内線 295
----------------------	----------------------------	-----------

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		07010304		担当グループ名	経済部 商工観光グループ 観光担当	
基本事業名		観光施設維持管理事業				
総合計画の位置づけ	基本目標	03	まちの資源や持ち味を、活力に換			
	施策(大区分)	06	観光の振興			
	施策(中区分)	02	既存施設や観光資源の保全、有効			
	施策(小区分)	01	既存施設の利用促進			
事業の概要		美幌町の観光施設の改修を行い、観光客及び町民が安心して快適に利用出来る施設としての維持管理を行う。				
対 象		観光客・町民				
目 的		美幌町の観光施設の維持管理を行い、観光客や町民が快適に利用できるようにする。				

基本事業指標		指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
峠の湯びほろにおける入浴者数			人	108,350	110,000	108,196	110,000

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重点 化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1		峠施設管理運営事業	美幌峠における観光入込客数(万人)			阿寒国立公園満喫プロジェクトにより美幌峠の改修を行い、更なる魅力の発信を図る。	妥当	普通	高い	維持	維持	
			81	71								
			9,297	7,794	9,061							
2		峠の湯びほろ管理運営事業	峠の湯びほろにおける入浴客数(人)			施設全体を有効活用し利用者の満足度を向上させる工夫を行うため、今後も指定管理者と協議したい。	妥当	普通	高い	拡大	維持	○
			108,350	108,196								
			14,951	14,481	15,440							
3		ターミナル物産センター管理運営事業	ぽっぽ屋来場者数(人)			特になし。	妥当	普通	高い	維持	維持	
			33,549	32,144								
			4,994	5,079	4,578							
4	★	峠の湯びほろ改修等整備事業	突発的な設備等のトラブルによる臨時休館回数(回)			日常点検のさらなる強化と効率的な年次修繕を実施することにより、臨時休館を抑制したい。	妥当	普通	高い	拡大	維持	◎
			1	0								
			11,214	18,288	16,644							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		40,456	45,642	45,723
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	2,864	1,599	1,908
	一般財源	37,592	44,043	43,815

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	
基本事業を構成する 事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	峠の湯びほろ改修等整備事	平成29年度実施の改修等調査検討業務委託により、今後の施設のあり方等含めて検討する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	峠の湯入浴者数増のための様々なイベント及び企画の推進。
	1年以内に実施可能な改善提案	未利用スペースの有効活用のため、指定管理者と協議を進める。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	施設の老朽化に対する改修が必要な時期に来ており将来的な施設のあり方を含め改修方法等について検討する。
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 商工観光グループ 観光主幹 那須 清二	内線 295
----------------------	----------------------------	-----------

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		08020201		担当グループ名		建設水道部 建設グループ 維持担当	
基本事業名		道路橋梁維持管理事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつ					
	施策(大区分)	01 道路網の整備					
	施策(中区分)	02 町道の整備					
	施策(小区分)	03 町道整備、維持補修、道路附帯施					

事業の概要	自動車や歩行者等の安全を確保し、住民の生活を守るための町道維持管理を行う。
-------	---------------------------------------

対 象	町道利用者
目 的	・道路、道路側溝、法面の維持管理 ・街路灯の維持管理 ・街路樹、植樹樹の維持管理

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
施設機能維の維持	点検、維持、補修の達成度	%	90	90	62	90

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		243,818	125,900	136,428
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	0		0
	地方債	4,500		0
	その他特定	2,798		1
	一般財源	236,520	125,900	136,427

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

↑

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	町道の維持管理は住民生活に密着したものであり、パトロールや点検、連絡によって早期に維持補修を行うことで修繕費の抑制を図ることは適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	計画的に維持補修を行うため、維持補修・整備する内容の整理や優先順位を明確化するものであり妥当である。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町道の維持管理は道路管理者（町）の役割であり、事業主体は適切である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		08020203		担当グループ名		建設水道部 建設グループ 維持担当	
基本事業名		除雪対策事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつ	04 住みやすく、人が集まる基盤をつ				
	施策(大区分)	02 除排雪体制の充実	02 除排雪体制の充実				
	施策(中区分)	01 除雪体制の充実	01 除雪体制の充実				
	施策(小区分)	01 除雪計画と除雪体制の随時見直し	02 除雪車両の充実				

事業の概要	除雪に対する住民要望は幅広く寄せられており、直営と委託により早期の生活道路確保を図るとともに、農村地区においては、地元の方々を構成メンバーとした「除雪部会」へ委託により、集乳路線及びバス路線を中心とした除雪を実施し、早期の走行路線の確保を図る。
-------	--

対 象	住民
目 的	冬期の降雪に対する除排雪を行うことによる住民生活の安定を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
一斉除雪	町内一円の町道、歩道除雪作業	回	7	8	4	8

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		191,610	141,179	167,441
財源内訳	国庫補助金	7,200		33,800
	道支出金	0		0
	地方債	0		16,100
	その他特定	0		1
	一般財源	184,410	141,179	117,540

【今後の方向性】					↑
成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	安全で快適な交通網確保のため除雪、排雪を行うものであり指標・目標値の設定は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	迅速な除雪を実施するため、直営と委託により事業構成されており妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町道、維持管理は道路管理者(町)の役割であり、事業主体は適切である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		08020205		担当グループ名		建設水道部 建設グループ 維持担当	
基本事業名		堤内排水対策事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつ					
	施策(大区分)	03 治山・治水対策の推進					
	施策(中区分)	01 治水対策の推進					
	施策(小区分)	02 内水排除用排水ポンプの維持管理					
事業の概要		大雨などによる河川の増水により、住宅等へ水害が及ばないように各樋門に排水ポンプを設置し監視体制を整える。 ・ポンプ稼働時における設置及び監視 ・排水ポンプの維持管理					
対 象		河川沿線住民					
目 的		大雨等災害による被害を軽減し、災害等に対する不安を解消する。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
排水設備設置設置数	樋門に設置する排水用ポンプ	基	35	41	41	5

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		6,529	28,154	24,831
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			4,600
	その他特定			0
	一般財源	6,529	28,154	20,231

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大

コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	河川の氾濫、浸水被害を軽減するために必要な排水用ポンプと電源を確保するものであり指標・目標値の設定は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	常設電源の確保、排水ポンプの維持管理、排水作業時の適切な監視作業により被害の軽減を図るための事務事業で構成されており妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	河川事業、治水砂防は町のみで課題解決できるものではなく、国・道との連携は不可欠である。防災面からも町が事業主体となるのは適切である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		08020301		担当グループ名		建設水道部 建設グループ 維持担当	
基本事業名		道路整備事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつ					
	施策(大区分)	01 道路網の整備					
	施策(中区分)	02 町道の整備					
	施策(小区分)	03 町道整備、維持補修、道路附帯施					

事業の概要	幹線・地域道路網の新設及び改良工事の継続的实施により、交通の利便性の確保・向上を図る。 舗装整備後年数が経過し、傷みの激しい路線が多いことから、市街地における一部の未舗装カ所と併せて整備を行う。
-------	--

対 象	町道
目 的	目視等より傷みの激しいものから改良工事の継続的实施により交通の利便性確保・向上を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
町道整備延長	オーバーレイ舗装	m	535	357	386	88

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		121,608	84,219	126,975
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	0		0
	地方債	121,300		120,000
	その他特定	0		0
	一般財源	308	84,219	6,975

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮 小	×	×
	休 廃 止	廃 止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

↑

◆事後評価◆

評価の視点		左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？	
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？	適切である	理由等 幹線・地域道路網の新設及び改良は住民生活に密着したものであり、計画的な整備のため目標値は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？	妥当である	理由等 交通の利便性の確保・向上を図るものであり妥当である。また、破損の状況等を確認して計画的に舗装補修路線を選定することで利用者の利便性を確保する事が重要である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？	妥当である	理由等 町道の維持管理は道路管理者(町)の役割であり、事業主体は適切である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	遊具等施設の老朽化が激しいため点検、維持補修作業、改修を行い施設の安全を図る。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	定期的な点検や維持補修作業により必要な修繕箇所等を把握し、計画的な改修を行う。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	公園の管理運営については、都市公園法等により町が事業主体となるのは適切である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		36010201	担当グループ名	建設水道部 建設グループ 維持担当
基本事業名		終末処理場維持管理事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつ		
	施策(大区分)	07 上下水道の整備		
	施策(中区分)	04 下水道事業の継続性の確保		
	施策(小区分)	02 下水終末処理場の運転管理		

事業の概要	終末処理場へ間断なく流入する下水を安全な処理水として放流するため、施設の点検等を実施し、非常時における処理水質の低下を最小限にとどめるため、適切な維持管理を行う。
-------	---

対 象	町民（公共下水道利用者）
目 的	下水を法令等の基準に適合する水質に処理し、水処理で発生する汚泥は、資源化に必要な性状を付与する。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
処理場稼働率	稼働した日数の率	%	100	100	100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		203,814	207,251	228,198
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	0		0
	地方債	0		0
	その他特定	0		25,683
	一般財源	203,814	207,251	202,515

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮 小	×	×
	休 廃 止	廃 止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

↑

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	不断な施設であることから指標の設定は適切であり、施設の老朽化に伴う維持補修作業、改修作業を計画的に行う。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	施設の維持管理業務については外部委託しており、構成する事務事業は妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	下水道法等の規定により町が事業主体となるのは適切である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード	36010202	担当グループ名	建設水道部 建設グループ 維持担当
基本事業名	公共下水道管渠維持管理事業		
総合計画の位置づけ	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつ	
	施策(大区分)	07 上下水道の整備	
	施策(中区分)	04 下水道事業の継続性の確保	
	施策(小区分)	03 下水道施設の老朽化等に伴う改築	
事業の概要	昭和48年に着手した公共下水道事業は、管渠施設の不具合が多くなっているため、速やかに市街地の汚水を収集し、処理場から公共用水域に放流するという管渠施設の機能を発揮できるよう適切かつ計画的な維持管理を行う。		
対象	町民（公共下水道利用者）		
目的	管渠施設の機能をより効果的に発揮されるよう保持する。		

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
整備率	整備計画/計画面積	%	80	80	80	80

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)	事務事業指標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重点化
						妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
1	★	公共下水道管渠維持管理事業	整備率(%)								
			80	80							
			15,607	14,952	17,645	妥当	普通	検討	拡大	拡充	◎

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		15,607	14,952	17,645
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			0
	一般財源	15,607	14,952	17,645

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
					コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	整備率を目標値と設定し、不具合が多くなっている管渠施設の維持管理補修作業を計画的に行うことは適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	巡視や点検(地上からの目視)を行い必要に応じて調査を実施し、計画的に修繕を実施する。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	下水道法等の規定により町が事業主体となるのは適切である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		36010301	担当グループ名	建設水道部 建設グループ 維持担当
基本事業名		公共下水道建設事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつ		
	施策(大区分)	07 上下水道の整備		
	施策(中区分)	04 下水道事業の継続性の確保		
	施策(小区分)	01 全体計画、事業計画の変更		

事業の概要	昭和48年に下水道事業を着手してから、平成27年度末で96.2%の水洗化率となっている。また、市街地周辺の集落等の環境整備を図るため、平成8年度から特定環境保全公共下水道事業に着手し、ほぼ整備を終えている。今後も更なる普及率の向上を図るため、汚水樹設置を実施する。
-------	--

対 象	町民（公共下水道利用者）
目 的	公共下水道は市町村が行うもので、雨水を排除し、効果的に汚水を処理するため事業を計画的に遂行する。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
施設稼働率	年次事業費/現在、長寿命化計画で承認	%	100	100	100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		211,399	230,515	308,980
財源内訳	国庫補助金	0		165,300
	道支出金	0		0
	地方債	0		132,600
	その他特定	0		11,080
	一般財源	211,399	230,515	0

【今後の方向性】					↑
成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	下水道普及率の向上を図るため、汚水柵を設置する。また、下水道管渠は布設後40年が経過しており、効果的な更新を計画的行うため管渠長寿命化計画を策定する。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	コスト縮減のため、交付金事業等を活用して計画的に事業を実施する。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	下水道法等の規定により町が事業主体となるのは適切である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		08050101		担当グループ名		建設水道部 建築グループ 公営住宅担当	
基本事業名		建築事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつ	04 住みやすく、人が集まる基盤をつ				
	施策(大区分)	06 住宅環境の整備	06 住宅環境の整備				
	施策(中区分)	02 民間住宅・宅地整備の推進	02 民間住宅・宅地整備の推進				
	施策(小区分)	01 住宅の将来需要の予測	02 住宅リフォーム制度の充実支援				

事業の概要	設計・積算に係る研修会への参加や、参考図書等により公共工事に係る監督員としての資質向上を図る。 民間住宅改修工事及び民間既存住宅の耐震改修を行う者に対して、その費用の一部を助成する。 住みやすい住宅環境の整備のため住宅リフォーム制度を実施する。
-------	--

対 象	町民
目 的	既存住宅ストックを有効活用し循環型市場の形成、地域経済の活性化、環境負荷の低減及び地震被害の軽減

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
各種研修会等への参加	参加件数	件	5	4	4	5

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		43,285	52,426	48,086
財源内訳	国庫補助金	0		150
	道支出金	45		113
	地方債	0		47,100
	その他特定	0		558
	一般財源	43,240	52,426	165

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮 小	×	×
	休 廃 止	廃 止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

↑

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	既存住宅ストックを有効活用し、合わせて循環型市場の形成と地域経済の活性化を目的にした指標設定としているため。
基本事業を構成する 事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	住宅施策を推進するうえで、必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	安全で快適な住環境を確保するとともに、環境負荷の低減及び地域経済の活性化を図る観点から、行政が主体となることが妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	『住宅耐震改修補助事業』については平成27年度で終了(平成23～27年度実績なし) 平成29年再開予定。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	建設水道部 建築グループ 建築主幹 西 俊男	内線 270
----------------------	---------------------------	-----------

基本事業コード	56010101	担当グループ名	建設水道部 水道グループ
基本事業名	水道事業		
総合計画の位置づけ	政策	4 環境を整え、美しいまちに	
	施策の大綱	3 快適な基盤をつくる	
	施策の方向	3 水資源、水道	
	施策	2 水道の整備	
事業の概要	快適な生活や都市活動を営む上で欠くことのできない重要なライフライン施設であり、安全で安心できる水の持続的な供給を確保するため、水道の信頼を維持し将来に渡り良いサービスを提供する。		
対象	給水区域内住民、水道関連施設		
目的	安定的な施設の運転と安全で安心できる水の供給		

基本事業指標	指標の算式	設定理由	単位	27実績値	28目標値	28実績値	29目標値
総収支比率	総収益／総費用	100%を下回ると純損失が生じる。今後10年間の収支計画をもとに作成した。給水人口1.5万人～3万人の道内事業体の平均は107.1%(平成24年度)である。	%	112.4	110.0	121.8	110.0
有収率	年間有収水量／年間配水量	給水人口1.5万人～3万人の道内事業体の平均は82.8%(平成24年度)である。現在の高い数値を維持する設定とした。	%	90.8	93.0	88.2	93.0
無掘削型筐設置率	無掘削型収納筐個数／量水器筐総数	計量法に基づく量水器交換費用の低減と住宅環境の保全のため100%の設置を目標とする。	%	44.4	57.3	57.8	69.9
計画に基づく実施率		安定的な水の供給を行うため。	%	100	100	100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝投資的経費)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			29年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			27年度実績値	28年度実績値	29年度		妥 当 性	有 効 性	効 率 性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
01		水道事業(収益)	総収支比率(%)				妥 当	高 い	高 い	維持	維持	○
			112.4	121.8								
			456,307,000	444,696,000	434,004,000							
02		水道事業(資本)	有収率(%)			有収率向上のため、不明水の調査及び解消が必要である	妥 当	普 通	高 い	拡大	拡充	◎
			90.8	88.2								
			325,423,000	441,612,000	441,612,000							
03	★	水道管路整備事業	有収率(%)			有収率向上のため、不明水の調査及び解消が必要である	妥 当	普 通	高 い	拡大	拡充	
			90.8	88.2								
			75,384,000	75,560,000	75,560,000							
04	★	量水器収納筐設置事業	無掘削型筐設置率(%)				妥 当	高 い	高 い	維持	維持	
			44.4	57.8								
			74,763,000	84,270,000	84,270,000							
05	★	水道施設整備事業	計画に基づく実施率(%)				妥 当	高 い	高 い	拡大	拡充	
			100	100								
			23,360,000	102,970,000	102,970,000							
06			()									
07			()									
08			()									
09			()									

事業費の合計(円)		27年度決算額	28年度決算額	29年度予算額
		781,730,000	886,308,000	875,616,000
財源内訳	国庫補助金			3,950,000
	道支出金			
	地方債	171,100,000	143,900,000	255,700,000
	その他特定			2,900,000
一般財源		610,630,000	742,408,000	613,066,000

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の妥当性	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	経営指標は営業収支比率、管理指標は有収率としている。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	水道事業の安定的な運営及び管理を行うために、計画的な施設更新・整備が必要である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	水道事業は、水道法に基づき経営しており第6条第2項に原則市町村が経営するものと規定されている。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案(継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止)を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	水道施設耐震化事業	水道施設耐震診断結果を基に耐震化計画を策定し、水道施設の耐震化を進め安定給水の継続に努める。
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	有収率低下原因の一つである不明水について、直営による調査を実施し対処することで有収率の向上を図る。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	建設水道部 水道グループ 御田順司	内線 280
----------------------	----------------------	-----------

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		10010302		担当グループ名		教育委員会 学校教育グループ 学校教育担当	
基本事業名		学校教育振興事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	05 夢を育む体験！あたたかい人をつ	05 夢を育む体験！あたたかい人をつ				
	施策(大区分)	01 幼稚園、学校教育の充実	01 幼稚園、学校教育の充実				
	施策(中区分)	03 小中学校の教育内容の充実	03 小中学校の教育内容の充実				
	施策(小区分)	07 教職員の資質・指導力の向上	09 少人数学級の推進				

事業の概要	生きる力を育むための基礎学力の向上、基礎体力の向上、体験学習の充実を図るため、各種事業を推進する。
-------	---

対 象	小中学校、児童生徒、教職員
目 的	学校教育環境の向上、教育内容の充実、教職員の指導力向上を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
学校教育振興推進事業	指導主事の配置	名	1	1	1	1

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		37,492	27,999	13,184
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	0		0
	地方債	9,200		5,500
	その他特定	0		0
	一般財源	28,292	27,999	7,684

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	学校教育環境の向上、教育内容の更なる充実には、教職員の指導力向上は不可欠であり、指標・目標値は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	構成された事務事業は、基本事業指標を達成するため妥当と考える。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	教職員の指導力向上を図るためには、町が実施主体となり進めることが妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	教育委員会 学校教育グループ 学校教育主幹 以頭 隆志	内線 302
----------------------	--------------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		10050301	担当グループ名	教育委員会 学校給食グループ 管理担当
基本事業名		学校給食運営事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	05 夢を育む体験！あたたかい人をつ		
	施策(大区分)	01 幼稚園、学校教育の充実		
	施策(中区分)	03 小中学校の教育内容の充実		
	施策(小区分)	05 学校給食センターの充実		

事業の概要	町内小中学校の児童・生徒等の給食の調理及び配送を行う
-------	----------------------------

対 象	町内の小中学校の児童・生徒等
目 的	安全・安心な楽しい給食を安定して提供する

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
給食供給率	給食提供日数／給食予定日数	%	100	100	100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		157,247	158,429	164,469
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	0		0
	地方債	0		0
	その他特定	81,379		82,041
	一般財源	75,868	158,429	82,428

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	検討の余地がある	理由等	継続して、あらゆる異物混入に対しての予防対策を講ずる必要がある。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	民間の食品衛生コンサルタント、害虫駆除専門業者に業務委託し、異物混入防止対策を実施する。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	専門業者に業務委託することにより、未然に異物混入の予防が出来る。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	異物混入を防止することにより、より安全な給食を確実に提供することができ、給食関係者への信頼回復につながる。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	教育委員会 学校給食グループ 学校給食主幹 石田勇一	内線
----------------------	-------------------------------	----

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		44010101		担当グループ名		教育委員会 社会教育グループ 社会教育担当	
基本事業名		介護予防事業					
総合計画の位置づけ	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、		02 自然の美しさやくらしの安心を、			
	施策(大区分)	02 高齢者福祉の充実		05 保健予防対策の推進			
	施策(中区分)	06 高齢者の社会参加、生きがい活動		03 介護予防の推進			
	施策(小区分)	04 高齢者の学習と活動機会の充実		01 生活習慣病や認知症を予防する生			
事業の概要		高齢社会を迎え、高齢者が充実した生活を送るために自ら進んで学習活動や社会的活動を続け主体的に生きていくことが求められていることから、「明和大学」を開講する。また、生活習慣病の予防、介護予防、その他健康に関して、個々に応じた指導助言を行うとともに、しゃきっとプラザの施設を使用した高齢者を中心とする積極的な健康づくりを支援する。					
対 象		65歳以上の町民					
目 的		生きがいのある生活を送り、積極的な社会参加及び健康状態を維持増進し、要介護状態への移行を予防する。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
新入学者数	前年度実績+10%	人	15	17	17	19
介護予防健康教育実施回数	概ね65歳以上を対象の健康教育実施回数	回	53	60		

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重点 化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当 性	有効 性	効率 性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	高齢者学級運営事業	新入学者数(人)			入学者が減少傾向にある	妥 当	普 通	高 い	維持	維持	○
			15	17								
			877	1,083	0							
2	★	二次予防事業	二次予防事業（高齢者体力向上教室）（％）				妥 当	普 通	高 い	縮小	維持	
			92	93								
			504	211	0							
3	★	一次予防事業	一次予防事業（介護予防出前講座、健康教育）（回）			高齢化の進行による対象数の増	妥 当	普 通	高 い	維持	維持	○
			53	49								
			8,128	8,477	0							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		9,509	9,771	0
財源内訳	国庫補助金	0	303	0
	道支出金	0	152	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	491	0
	一般財源	9,509	8,825	0

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	廃止	×	×	×	×
	皆減	×	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点			左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	高齢者の社会参加等を計る指標である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	高齢者の生きがい創出、社会参加に必要な事業である。運動指導員等と連携を図り地域にも出向き介護予防教育を実施し広く介護予防の普及啓発を図る。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	介護予防のために実施している事業でもあるため、町主体が妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	高齢者学級運営事業	明和大学の認知度を高め、入学勧誘を進める。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
	二次予防事業	H28年度は、国保病院の理学療法士の協力により、機能評価に基づいた個別運動プログラムを提供する。
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	入学者増に向け、広報や報道による周知に加え、勧誘方法を検討する。新入生申込みの受付開始前に説明会を開催し、早期の勧誘を図る。公開授業の開催、相談会の開催、ワンコインバスの利用促進のための授業開始時間を遅くするなど対策をとる。
	1年以内に実施可能な改善提案	「明和大学」クラブ活動を充実させる
	2～3年以内に実施可能な改善提案	明和大学を卒業した方への学習機会の提供を検討する
改善状況	改善効果	しゃきっとプラザ運動指導室、健康遊浴施設の効果的な利用により健康維持及び増進が図られる。効果的な運動指導や健康教育により、高齢者の生活の質の向上が図られる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	元気な高齢者が活動できる機会を多くとってもらえる

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	教育委員会 社会教育グループ 社会教育主幹 露口哲也	内線 72-2300
----------------------	-------------------------------	---------------

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		10040204		担当グループ名	教育委員会 社会教育グループ 文化振興担当
基本事業名		芸術文化振興事業			
総合計画の位置づけ	基本目標	05 夢を育む体験！あたたかい人をつ			
	施策(大区分)	04 芸術、文化の振興			
	施策(中区分)	01 芸術文化活動の促進			
	施策(小区分)	04 町民主体による芸術鑑賞事業の奨			
事業の概要		文化ホールを核として町民が芸術文化にふれる機会を拡充する。			

対 象	町民
目 的	芸術文化鑑賞事業参加者及び「びほーる」利用者・来館者の確保

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
催事入場数	びほーる開催の催事入場数	人	22,172	22,500	17,822	23,000

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)	事務事業指標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の事業の方向性		重点化
						妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
1	★	芸術文化振興事業	催事入場者数(人)		補助団体の減少、会員や事業内容の固定化が課題	妥当	高い	高い	拡大	拡充	◎
			22,172	17,822							
			11,522	13,179	0						

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		11,522	13,179	0
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	3,524	5,073	0
	一般財源	7,998	8,106	0

【今後の方向性】

成果の方向性

拡充

維持

縮小

休廃止

×

×

×

廃止

協働化

効率性向上

縮小

×

生産性向上

現状維持

×

×

拡大基調

×

×

×

皆減

縮小

維持

拡大

コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	文化芸術の振興、充実のために基本となる指標である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	施設の活用を図り、文化芸術振興に必要な事業である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	文化芸術の振興は、社会教育の一環であり、社会教育法に規定されていることから、町主体が妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	芸術文化振興事業	若年層の主体的活動の必要が課題となっていることから、若者が関心を持って参加できるような事業をさらに検討する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	若い世代による音楽や芸術分野で、びほーるで活動又は発表活動をしたい町民が集える機会を作ること、将来に向け継続できる鑑賞事業団体の結成をめざす。
	1年以内に実施可能な改善提案	演劇ワークショップ参加者を中心とした、主に子どもが対象の「びほーる演劇ひろば」の活動充実を図り、地域に根付いた創作活動を展開する。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	「びほーる演劇ひろば」の活性化を図るとともに、若い町内アーティストが演奏活動やアーティスト招聘活動を行う機会を積極的につくる。
改善状況	改善効果	芸術文化活動の活性化により、青少年を中心に主体性・創造性が養われるとともに、「びほーる演劇広場」による地域に視点を置いた創作活動により、郷土愛が養われ、活力あるまちづくり活動につなげることができる。
	改善の阻害要因	アーティスト等を招聘する文化活動は、券売による自主財源が必要となり、必要券売数の確保が重荷になりやすい。
	住民への影響及びフォロー	町民主体のアーティスト等招聘活動に対しても、公的に事業PRや運営等の支援を積極的に行い、町民が活動しやすい環境づくりを行う。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	教育委員会 社会教育グループ 社会教育主幹 露口哲也	内線 72-2300
----------------------	-------------------------------	---------------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		10050101	担当グループ名	教育委員会 スポーツ振興グループ スポーツ
基本事業名		スポーツ推進事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	05 夢を育む体験！あたたかい人をつ		
	施策(大区分)	05 スポーツの振興		
	施策(中区分)	01 生涯スポーツの振興		
	施策(小区分)	01 スポーツ振興の充実		

事業の概要	スポーツ基本法に基づくスポーツ基本計画並びに社会教育中期計画の推進を図るため、幼児から高齢者まで生涯にわたって健康で豊かな生活を送ることができるようにスポーツ教室等事業の実施及びスポーツ関係団体の育成支援に努める
-------	--

対 象	町民
目 的	健康で豊かな生活を送り、地域コミュニティの形成を図る

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
各種教室の参加者数	各種教室の年間参加者数	人	3,065	3,500	2,666	3,500

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		16,695	186,740	13,417
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	0		0
	地方債	0		0
	その他特定	898		581
	一般財源	15,797	186,740	12,836

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	この事業は、体育協会に加盟する競技団体や各種スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなど町民のスポーツ活動を支援するほか、大会の開催やスポーツ指導者を育成するための講習会の開催など事業の参加者人数を指標し、天候による中止や参加者の減少による
基本事業を構成する 事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	スポーツ振興事業のかかわる事業を基本とし、育成支援団体のスポーツクラブの事業など企画運営・団体活動支援を行い事業の構成は妥当であるが、体育協会加盟団体の一部停滞も課題である
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町のスポーツ振興事業として、各種スポーツ教室や競技大会などの主催事業や団体の育成支援は町のスポーツ活動の活性化のため町が行うのが妥当である



この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善状況	改善効果	毎年事業内容の改善・工夫を行っており、参加者アンケートなどから満足度は高く、町民の交流機会が図られている
	改善の阻害要因	他の行事など日程や会場の確保
	住民への影響及びフォロー	スポーツ愛好者の普及拡大が図られ、健康・体力づくりにおける意識の高揚と活動の継続化に努め地域コミュニティが活性化が図られる

88

28

事後評価シートの
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		10050202		担当グループ名		教育委員会 スポーツ振興グループ スポーツ	
基本事業名		屋外体育施設維持管理事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	05 夢を育む体験！あたたかい人をつ					
	施策(大区分)	05 スポーツの振興					
	施策(中区分)	02 スポーツ施設の整備、活用					
	施策(小区分)	05 既存施設の維持及び更新					
事業の概要		屋外体育施設の維持管理（野球場、河畔公園運動広場、多目的運動広場、テニスコート、陸上競技場、クロスカントリーコース、リリー山スキー場）					
対 象		体育施設利用者					
目 的		安全安心で快適なスポーツ活動ができるよう施設の維持管理に努め施設の有効利用と利用者の拡大を図る					

基本事業指標		指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
施設利用人数		施設の年間利用人数	人	54,528	54,000	54,297	54,000

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重点化	
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果		
			決算額	決算額	予算額								
1		あさひ公園・テニスコート維持管理事業	整備件数(回) 2 3,083			2 2,519 3,244	施設の適切な維持管理と年次的な修繕が必要	妥当	高い	高い	維持	維持	
2		河畔公園運動広場維持管理事業	利用人数(人) 35,101 12,678			18,989 12,780 14,897							
3		リリー山スキー場維持管理事業	利用人数(人) 19,427 21,142			19,779 21,975 22,005	施設、機材の老朽化により修繕が必要となってきた	妥当	高い	高い	維持	維持	○
4		柏ヶ丘公園維持管理事業	整備件数(回) 3 18,078			3 9,139 10,137							
5	★	リリー山スキー場改修等整備事業	整備回数(回) 1 7,182			1 4,320 2,268	リフトの老朽化により年次的な修繕が必要	妥当	高い	高い	維持	維持	
6	★	屋外体育施設備品等整備事業	整備件数(回) 3 2,581			1 3,564 2,879							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		64,744	54,297	55,430
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	0		0
	地方債	0		0
	その他特定	9,514		7,369
	一般財源	55,230	54,297	48,061

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
	コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	維持	拡大	

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	施設の維持管理に努めるとともに、安全に利用してもらうため各施設の修繕等に対応するよう年次的、計画的な修繕や改修が必要である
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	体育施設の利用促進や安全かつ快適な利用のため施設の管理運営と修繕等の対応が必要であり妥当である
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町営の体育施設であり、利用者の利用調整も含め管理・改修を行うのは妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	あさひ公園・テニスコート	人工芝の張り替え修繕により安全かつ快適な利用ができています。美富テニスコートは備品等の更新整備を行った
	河畔公園運動広場維持管理	災害により復旧できたものの十分な整備が行えなかったため利用人数が半減した。ソフトボール場は復旧できず今後の方向性を検討する
	リリー山スキー場維持管理	圧雪車の点検整備を行っているが経年劣化による大規模な修繕を行った。リフトの年次的修繕やロッジの修繕など安全かつ快適な施設管理に努めた
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	定期的な施設点検や安全管理のための適切な管理体制の維持確保のため、利用団体との協議を行う
	1年以内に実施可能な改善提案	クロスカントリースキーコースの整備拡充に伴う団体との協議
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	年次的な施設の更新整備による環境整備が図られている
	改善の阻害要因	災害における被害を最小限に抑える
	住民への影響及びフォロー	施設の維持管理と安全かつ快適な環境整備により、町民のスポーツ活動の活性化が図られる。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	教育委員会 スポーツ振興グルー	内線
	スポーツ振興主幹 浅野謙	

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		10050203		担当グループ名		教育委員会 スポーツ振興グループ スポーツ	
基本事業名		体育施設整備事業費					
総合計画の 位置づけ	基本目標	05 夢を育む体験！あたたかい人をつ					
	施策(大区分)	05 スポーツの振興					
	施策(中区分)	02 スポーツ施設の整備、活用					
	施策(小区分)	04 クロスカントリーコース整備					

事業の概要	体育施設の定期的な維持補修と施設の整備拡充を図る。
-------	---------------------------

対 象	体育施設利用者
目 的	安全安心で快適なスポーツ活動ができるよう施設の維持管理に努め施設の有効利用と利用者の拡大を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
整備件数	整備件数	件	3	1	1	

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		0	26,978	0
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			0
	一般財源	0	26,978	0

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大

コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	クロスカントリースキーコースの整備は、団体の努力もあり維持してきたが、圧雪車など整備車両の老朽化により施設の維持が困難になってきたことから、更新整備が必要である
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	クロスカントリースキーコースの整備により、青少年のスポーツ活動における活躍や生涯スポーツとしての愛好者の拡大など施設の整備は妥当である
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町の体育施設として、冬期間のスポーツ活動の整備は必要であり、適切な委託管理と施設整備は町が行うのが妥当である



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	クロスカントリーコース整	クロスカントリースキーコース用の圧雪車を導入し、安全かつ快適なコース作りに努め、今後コースの整備拡大に向けた協議を行う
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	クロスカントリースキーコースの整備拡充のための団体との協議、屋内多目的運動場の整備検討
	1年以内に実施可能な改善提案	屋内多目的運動場建設基本構想の策定及び基本設計委託
	2～3年以内に実施可能な改善提案	屋内多目的運動場の建設

改善状況	改善効果	クロスカントリースキーコース用圧雪車導入により、安全かつ快適なコース作りができ、愛好者の活動により活発になった。
	改善の阻害要因	財源の確保
	住民への影響及びフォロー	安全かつ快適なスポーツ環境の整備充実により活動の活性化が図られた

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	教育委員会 スポーツ振興グルー	内線
	スポーツ振興主幹 浅野謙	

28

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		10040503		担当グループ名		教育委員会 図書館グループ 業務担当	
基本事業名		図書館活動促進事業					
総合計画の位置づけ	基本目標	05 夢を育む体験！あたたかい人をつ		05 夢を育む体験！あたたかい人をつ		05 夢を育む体験！あたたかい人をつ	
	施策(大区分)	02 生涯学習の充実		02 生涯学習の充実		02 生涯学習の充実	
	施策(中区分)	04 図書館、読書活動の充実		04 図書館、読書活動の充実		04 図書館、読書活動の充実	
	施策(小区分)	02 図書館における郷土図書資料の充		03 図書館ボランティアの育成及び活		04 子どもの読書活動の推進、読書習	
事業の概要		図書・資料等の収集、整備を行い利用者に提供することで、教養の向上、娯楽に資する。 また、講座や子ども対象の読み聞かせ、工作会等を開催し図書館活動の推進を図る。 子ども未来絵本036事業により0歳、3歳、6歳の子ども達に絵本を配布し、読書習慣の形成と豊かな情操をはぐくむ。					
対 象		町民及び図書館の利用者					
目 的		図書等の利活用の拡大を図る。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H27実績値	H28目標値	H28実績値	H29目標値
適切な選書を行い利用者に提供する	1日平均貸出冊数	冊	525	530	516	530

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H29年度以降の 事業の方向性		重点化
			H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度		妥当性	有効性	効率性			
			決算額	決算額	予算額					コスト	成果	
1		図書資料購入整備事業	1日平均貸出冊数(冊)			目標数値には満たないが、昨年度とは若干減少している。	妥当	普通	高い	維持	維持	○
			525	516								
			8,699	9,208	7,956							
2	★	図書館活動推進事業	1日平均来館者数(人)			目標数値及び昨年度より減少している。	妥当	高い	高い	維持	維持	
			220	206								
			1,514	823	1,169							
3	★	読書習慣推進事業	配布人数(人)			関係機関の協力を得て予定とおり実施された。	妥当	高い	高い	維持	拡充	◎
			283	416								
			503	652	869							
4	★	図書館郷土資料デジタル化事業	1日平均来館者数(人)			予定通り事業を進めている。	妥当	普通	高い	維持	維持	○
			220	206								
			0	1,701	1,701							

事業費の合計(千円)		H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度予算額
		10,716	12,384	11,695
財源内訳	国庫補助金	0		0
	道支出金	0		0
	地方債	0		0
	その他特定	66		3
	一般財源	10,650	12,384	11,692

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	廃止	廃止	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	図書館の利用拡大を図るため、各種事業の実施をはじめ住民ニーズや要望への対応等を適切に行い、住民サービスの向上に努めている。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	人口減少に伴い図書館全体での貸出冊数は減少しているものの、絵本の貸出冊数は増加しており、ブックスタートやブック２事業の効果が少しずつ現れてきているものと思われる。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・ＮＰＯ等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	法的には外部委託も可能だが、公共性に鑑み現段階では考えていない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	図書資料購入整備事業	町民ニーズやリクエスト等に対応した選書により、蔵書拡充を図るとともに予算枠の拡充を図っていく。
	図書館活動推進事業	魅力ある図書館づくり及び事業の見直しを含め、PRの方法を検討することにより来館者の増加を図る。
	読書習慣推進事業	職員だけでは対応が困難なため、ボランティアの支援が必要不可欠だが、ボランティアの後継者不足が大きな課題となっており、今後人材確保を図っていく。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
	図書館郷土資料デジタル化	戦前の貴重資料のデジタル化により当該資料の保管と利用の促進を図る。

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	１年以内に実施可能な改善提案	平成２８年度より新たに３歳児を対象とし絵本を配布し、０歳、３歳、６歳と切れ目のない「こども未来絵本０３６事業」として事業の拡充を図る。
	２～３年以内に実施可能な改善提案	図書館事業の見直しのほか、学校との連携強化を図っていく。
改善状況	改善効果	子ども達が積極的に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身につける効果が期待できる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	町民ニーズや要望に対応した蔵書や、子ども達が色々な機会やあらゆる場所で読書活動ができる環境づくりのため家庭、学校、地域社会と連携した読書活動を推進する。

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	教育委員会 図書館グループ 教育部長 田村圭一	内線 301
----------------------	----------------------------	-----------

基本事業コード	57010101	担当グループ名	国保病院 総務グループ
基本事業名	美幌町病院事業		
総合計画の位置づけ	政策	1 元気で働き、豊かなまちに	
	施策の大綱	1 健康を保つ	
	施策の方向	2 医療	
	施策	1 国民健康保険病院の充実	
事業の概要	病床機能を有する地域の基幹的病院として、医師確保による診療の体制の充実を図り地域に必要な医療を安定的に提供することで、収益の確保を図るとともに、経営の効率化による経費の抑制対策を進め、また必要な医療機器の導入や更新、施設の維持管理を継続的に実施することにより、町民の生命と健康を守り地域医療を支援する。		
対象	町民等		
目的	安定的に医療を提供し、町民等の生命と健康を守り、地域医療を支援する。		

基本事業指標	指標の算式	設定理由	単位	27実績値	28目標値	28実績値	29目標値
入院収益	入院患者数 28,320人×28,259円		千円	799,178	800,295	805,996	888,976
外来収益	外来患者数 65,391人×12,368円 在宅・訪問22,224千円		千円	776,401	830,979	790,195	790,124

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝投資的経費)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			29年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			27年度実績値	28年度実績値	29年度		妥 当 性	有 効 性	効 率 性	29年度以降の 事業の方向性		
			決算額	決算額	予算額						コスト	
01	★	病院運営事業	総収益対総費用比率(%)			医療収益の増加に加え、設備などの減価償却費が減少したため、収支の改善が図られた。 4月に消化器内科、1月に呼吸器内科医師を採用した。 MRIをはじめ、医療機器導入計画どおりの更新を行った。	妥当	高い	検討	縮小	拡充	◎
			94.4	95								
			1,826,811	2,008,238	2,143,701							
02	★	固定医師の確保	医師確保数(人)			呼吸器内科医師を採用した。 MRIをはじめ、医療機器導入計画どおりの更新を行った。	妥当	高い	高い	維持	拡充	○
			4	1								
			1,186,000	8,515,000	1,916							
03	★	医療機器等更新事業	医療機器等更新事業進捗率(%)			MRIをはじめ、医療機器導入計画どおりの更新を行った。	妥当	高い	高い	維持	拡充	○
			92	99								
			239,425,000	181,631,000	102,871							
04			()									
05			()									
06			()									
07			()									
08			()									
09			()									
10			()									

事業費の合計(円)		27年度決算額	28年度決算額	29年度予算額
		242,437,811,000	192,154,238,000	2,248,488,000
財源内訳	国庫補助金			
	道支出金			
	地方債			
	その他特定			
一般財源		242,437,811,000	192,154,238,000	2,248,488,000

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の妥当性	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	医師の確保と収支の改善は終期の無い課題であり、指標は妥当と考える。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	国保病院が行うべき3つの柱である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	公営企業法の全部適用、外部委託等の可能性は検証に時間を要する。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案(継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止)を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	国保病院 総務グループ 遠 國 求	内線 73-4111
----------------------	----------------------	---------------